

第4次城陽市総合計画策定に係る
まちづくり市民アンケート

調査結果報告書

平成28年12月

城 陽 市

はじめに

本市では、市の計画的なまちづくりの根幹となる総合計画を昭和59年に策定し、以降、現在の総合計画に至るまで2回の改定を行ってまいりました。

現在の第3次総合計画は、当初からの「緑と太陽、やすらぎのまち・城陽」を目指すべき都市像とし、平成19年3月に策定したもので、平成28年度に目標年次を迎えます。

その間、わが国は、平成20年をピークとして人口減少局面に入るとともに、出生率の低迷と高齢化の進行により、生産年齢以下の層が大きく減少しています。

本市においても、少子高齢化や若者の市外流出による年齢構成などの人口構造の変化は避けがたく、この動向を踏まえた子育て支援や高齢者福祉施策などの見直し、地域社会の維持に向けた取り組みを進める必要があります。

また、市を取り巻く社会環境は、平成35年度に新名神高速道路の全線開通という大きな転換期を迎えるとともに、新市街地の整備、東部丘陵地〔山砂利採取跡地〕の土地利用、JR奈良線の複線化事業が進行するなど、これからの10年間で大きく変化していこうとしています。

これらの要因を踏まえ、平成29年度からの新しい10年を見通し、各分野においてめざすべき目標を描き、計画的に施策を推進するため、第4次総合計画を策定する必要があります。

このアンケートは、市民の皆さんの意識やまちづくりに対する意向などを調査させていただき、新たな総合計画策定の基礎資料として活用することを目的に実施いたしました。

調査にご協力いただきました皆様方にお礼申し上げますとともに、今後一層の市政に対するご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成28年（2016年）12月

城陽市長 奥田敏晴

目 次

1. アンケート調査の概要	1
2. アンケート調査結果	
I. 回答者自身について	
(1) 性別	2
(2) 年齢	2
(3) 職業	3
(4) 居住年数	3
(5) 住居形態	4
(6) 校区	4
II. 城陽市のことについて	
(1) 満足度	5
①鉄道の利用しやすさ	5
②城陽さんさんバスの利用しやすさ	6
③道路の利用しやすさ・安全性	7
④歩道の利用しやすさ・安全性	8
⑤居住環境のよさ	9
⑥水や緑などの自然環境の豊かさ	10
⑦川や池の水のきれいさ	11
⑧市からの情報発信や情報提供	12
III. 日常生活について	
(1) 普段の生活	13
①防犯の面からみて、安全に暮らせるまちである	13
②高齢になっても、地域で安心して暮らせるまちである	14
③働くことと子育てが両立できる環境が整っている	15
④育児について相談できる場が整っている	16
⑤青少年が安全で健やかに育つ環境が整っている	17
⑥市内を流れる川について、親しみやすい	18
⑦男女が平等である	19
⑧人権が尊重されている	20
⑨市役所職員の仕事や対応が信頼できる	21

(2) 災害時	22
(3) 高齢者福祉	23
(4) 子育て支援	24
(5) 障がい者福祉	25
(6) かかりつけ医	26
(7) 京都サンガF. C. のホームタウン	27
(8) 地球環境問題	28
(9) 近所との密接性	29
(10) 活動	30
①福祉分野のボランティア・市民活動	30
②自主的な健康づくり活動	31
③生涯学習に係わる様々な講座	32
④文化・芸術活動	33
⑤運動・スポーツの実施状況	34

IV. 定住意向について

(1) 定住意向	35
(1) - 1 住み続けたい理由	36
(1) - 2 移りたい理由	40

資料 アンケート調査票	44
-------------	----

1

アンケート調査の概要

(1) 調査目的

市の総合的な指針である「城陽市総合計画」の見直しを行うにあたり、その進捗状況を把握し、まちづくり指標の設定や今後の総合計画の進行管理の基礎資料とすることを目的として、調査を行った。

(2) 調査対象

- ・市内に居住する20歳以上の男女から無作為に2,000人を抽出

(3) 調査方法

- ・郵送による配布、回収

(4) 調査時期

- ・配布開始：平成28年8月20日
- ・回収終了：平成28年9月5日

(5) 回収状況

- ・回収数：1,077件
- ・回収率：53.9%

(6) 調査内容

I. 回答者自身について

- (1)性別、(2)年齢、(3)職業、(4)居住年数、(5)住居形態、(6)校区

II. 城陽市のことについて

- (1)満足度

III. 日常生活について

- (1)普段の生活、(2)災害時、(3)高齢者福祉、(4)子育て支援、(5)障がい者福祉、(6)かかりつけ医、(7)京都サンガF.C.のホームタウン、(8)地球環境問題、(9)近所との密接性、(10)活動

IV. 定住意向について

- (1)定住意向、(2)住み続けたい理由、(3)移りたい理由

V. 自由意見

(7) 集計結果について

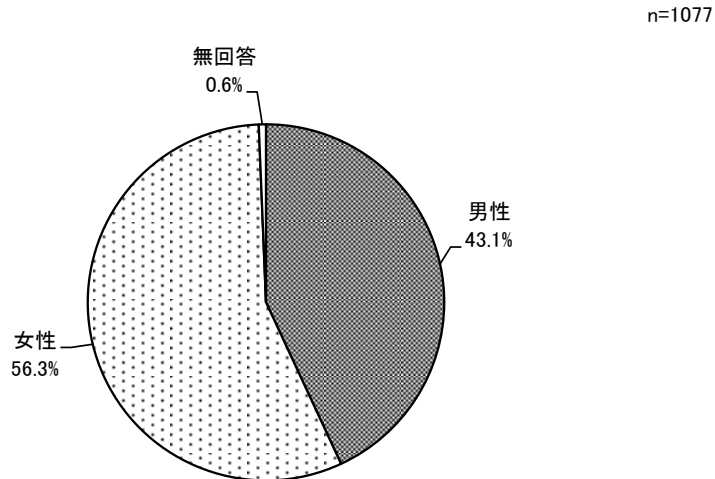
- 回答は、原則として各質問の回答者数を基礎とした百分率(%)で表示している。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合がある。
- 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどの程度の比率であるかという見方になるため、比率の合計が100.0%を超える場合がある。

2 アンケート調査結果

I. 回答者自身について

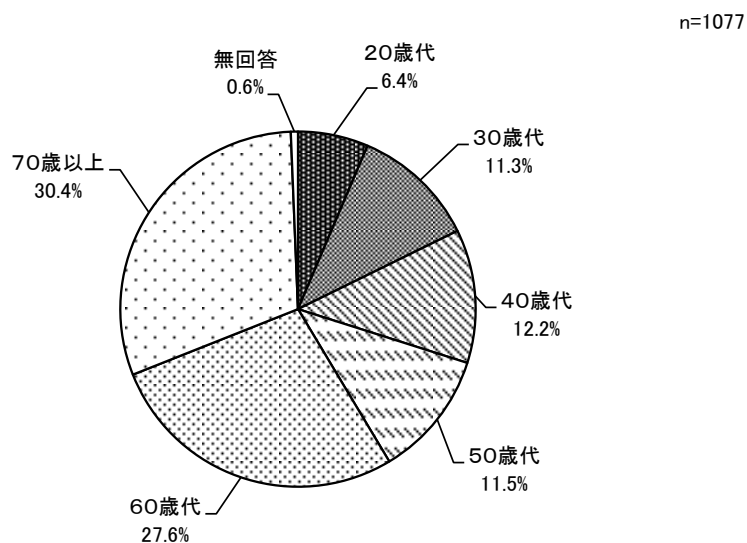
(1) あなたの性別は。

回答者の性別は、「男性」が43.1%、「女性」が56.3%で「女性」がやや多くなっている。



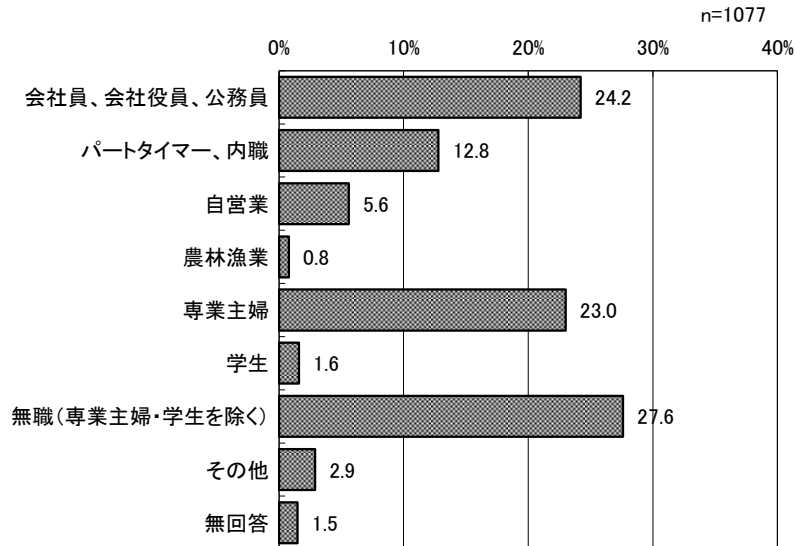
(2) あなたの年齢は。

回答者の年齢は、「70歳以上」が30.4%で最も多く、次いで「60歳代」が27.6%、「40歳代」が12.2%、「50歳代」が11.5%となっており、回答者の約6割が60歳以上となっている。



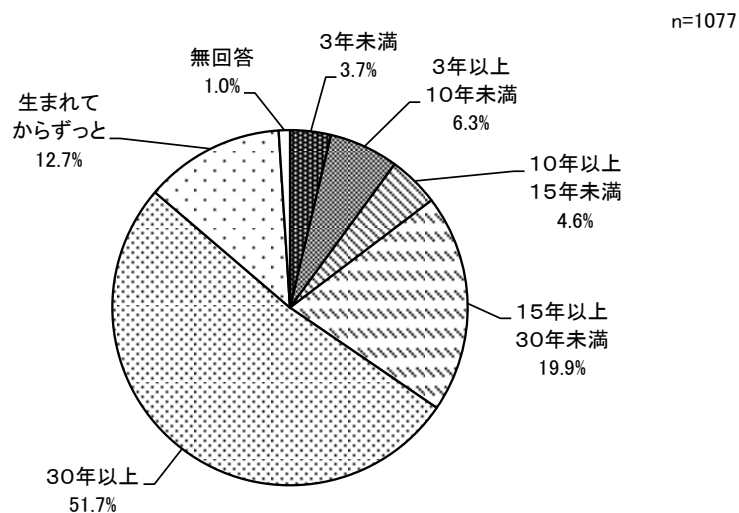
(3) あなたの職業は。

回答者の職業は、「無職（専業主婦・学生を除く）」が27.6%で最も多く、次いで「会社員、会社役員、公務員」が24.2%、「専業主婦」が23.0%となっている。



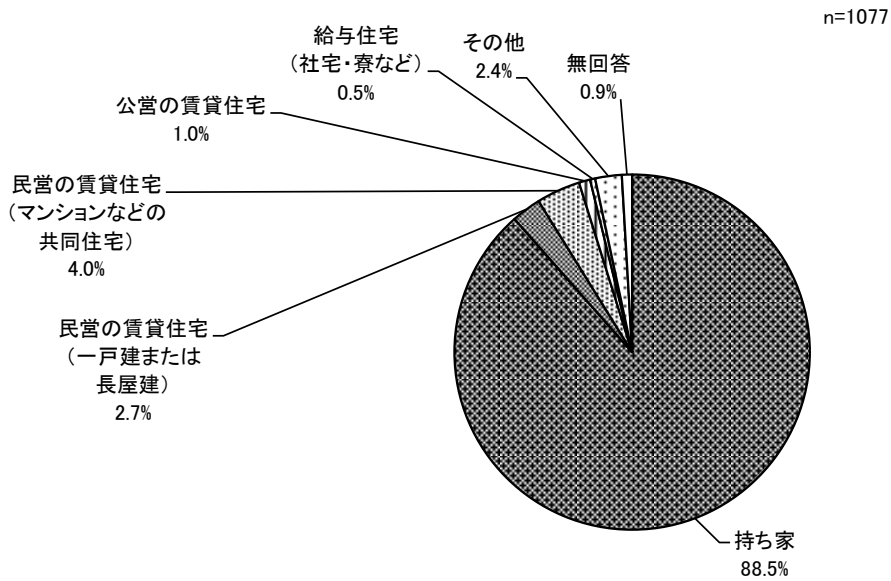
(4) あなたは城陽市にお住みになって何年になりますか。

回答者の居住年数は、「30年以上」が51.7%、「15年以上30年未満」が19.9%、「生まれてからずっと」が12.7%であり、回答者の約8割が、15年以上城陽市に住んでいる。



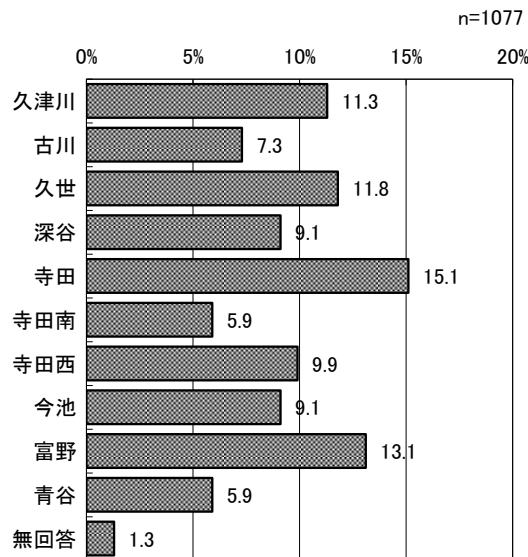
(5) あなたのお住まいは。

回答者の住居の形態は、「持ち家」が88.5%と約9割を占めている。



(6) あなたのお住まいの小学校区は。

回答者の住んでいる小学校区は、「寺田」が15.1%で最も多く、次いで「富野」が13.1%、「久世」が11.8%となっている。

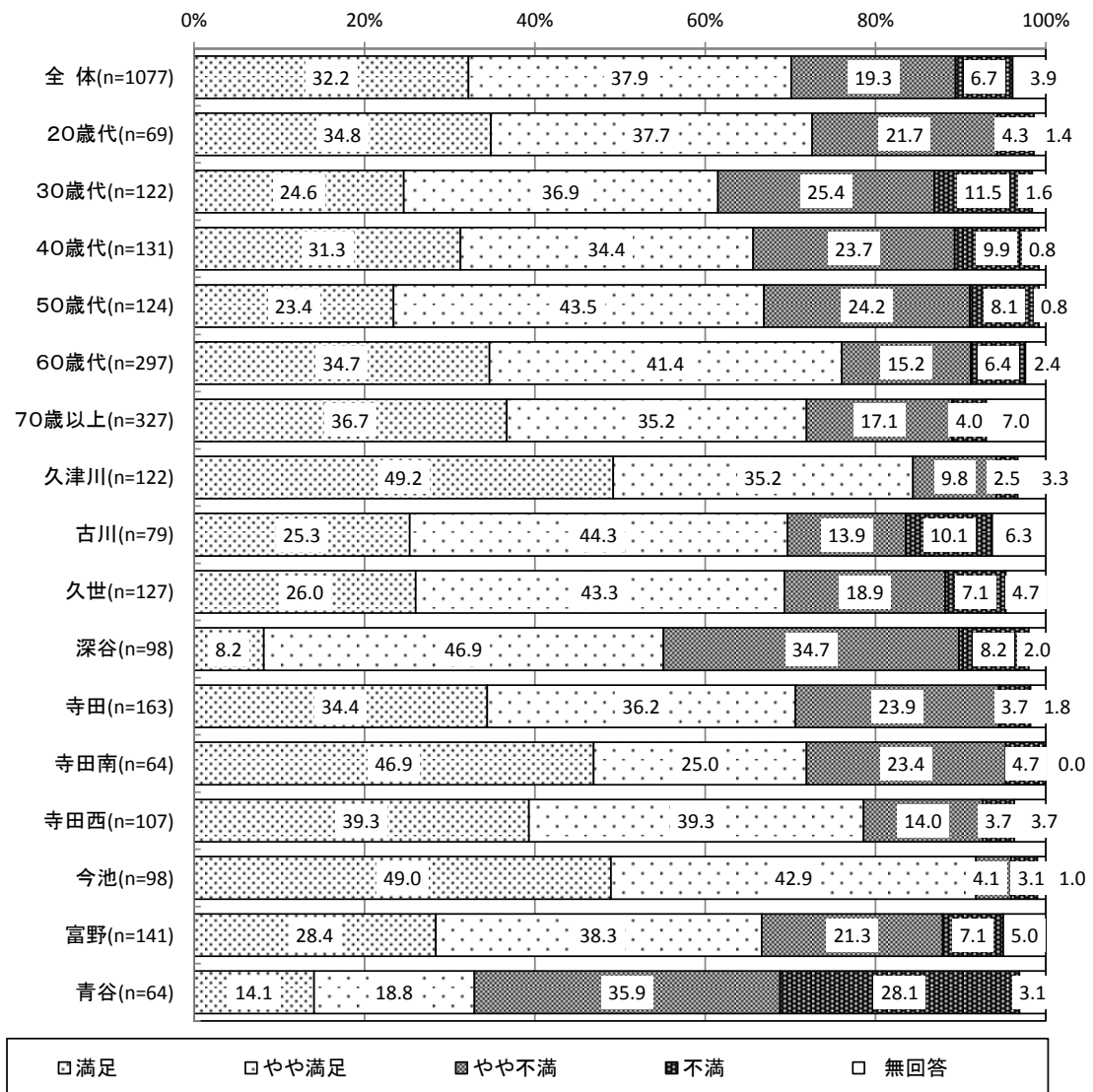


II. 城陽市のことについて

(1) あなたが城陽市に住んでいて、次の項目についてどのように感じているのかをお答えください。あてはまる番号を一つ選んで○をつけてください。

①鉄道の利用しやすさ

全体では、「やや満足」と回答した人が37.9%で最も多く、次いで「満足」が32.2%となっている。「満足」と「やや満足」を合計すると約7割の人が鉄道の利用しやすさに対して満足と感じている。年齢別では、30歳代で「やや不満」と「不満」の合計が全体より高い傾向となっている。居住地区別では、久津川、今池で「満足」と「やや満足」の合計が全体より高い傾向となっている。一方、深谷、青谷で「やや不満」と「不満」の合計が全体より高い傾向となっている。

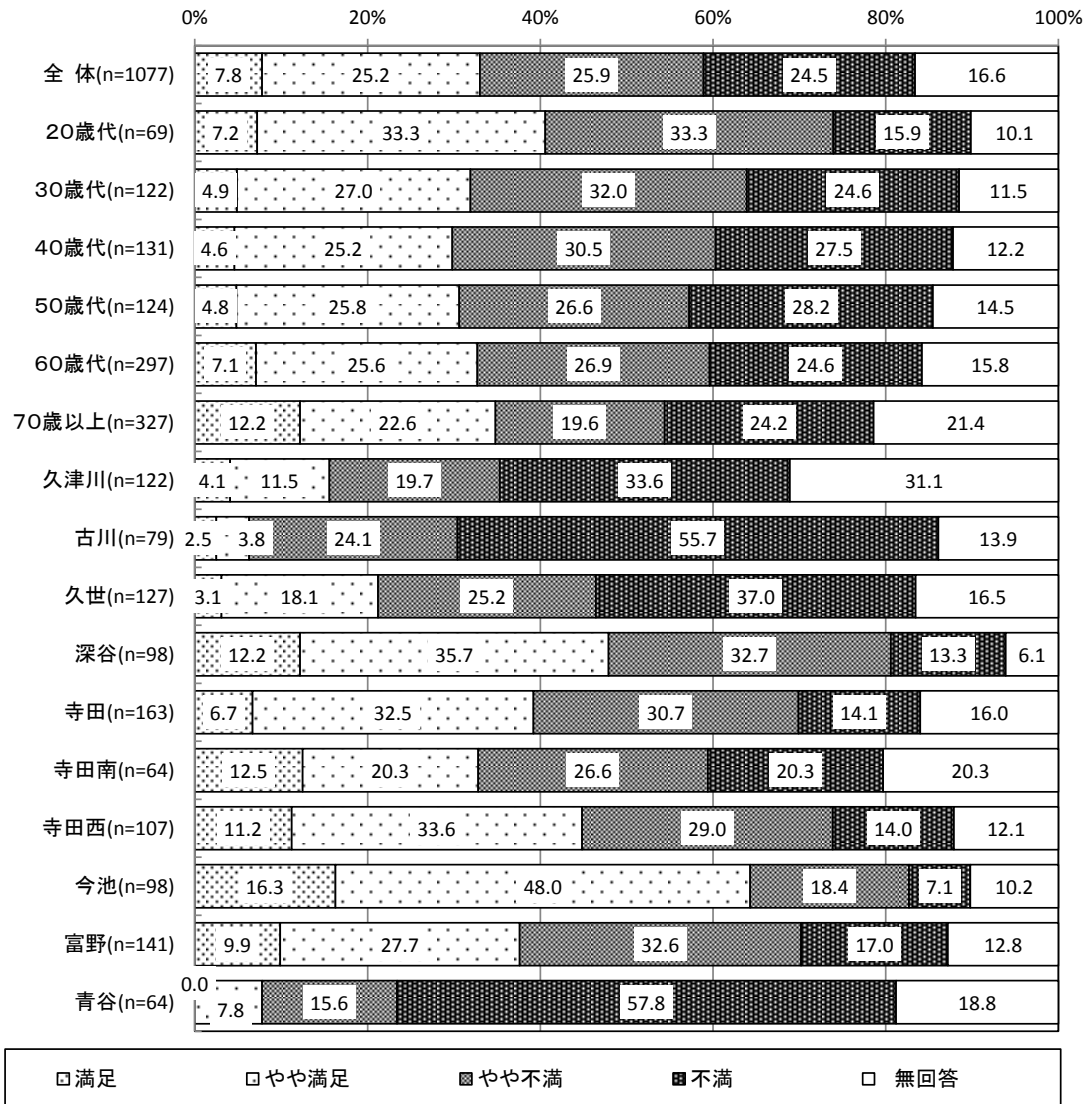


②城陽さんさんバスの利用しやすさ

全体では、「やや不満」と回答した人が25.9%で最も多く、次いで「やや満足」が25.2%、「不満」が24.5%となっている。「不満」と「やや不満」を合計すると約5割の人が城陽さんさんバスの利用しやすさに対して不満に感じている。

年齢別では、いずれの年齢でも全体と同じ傾向となっている。

居住地区別では、古川、久世、青谷で「不満」と「やや不満」の合計が全体より高い傾向となっている。一方、深谷、寺田西、今池で「満足」と「やや満足」の合計が全体より高い傾向となっている。

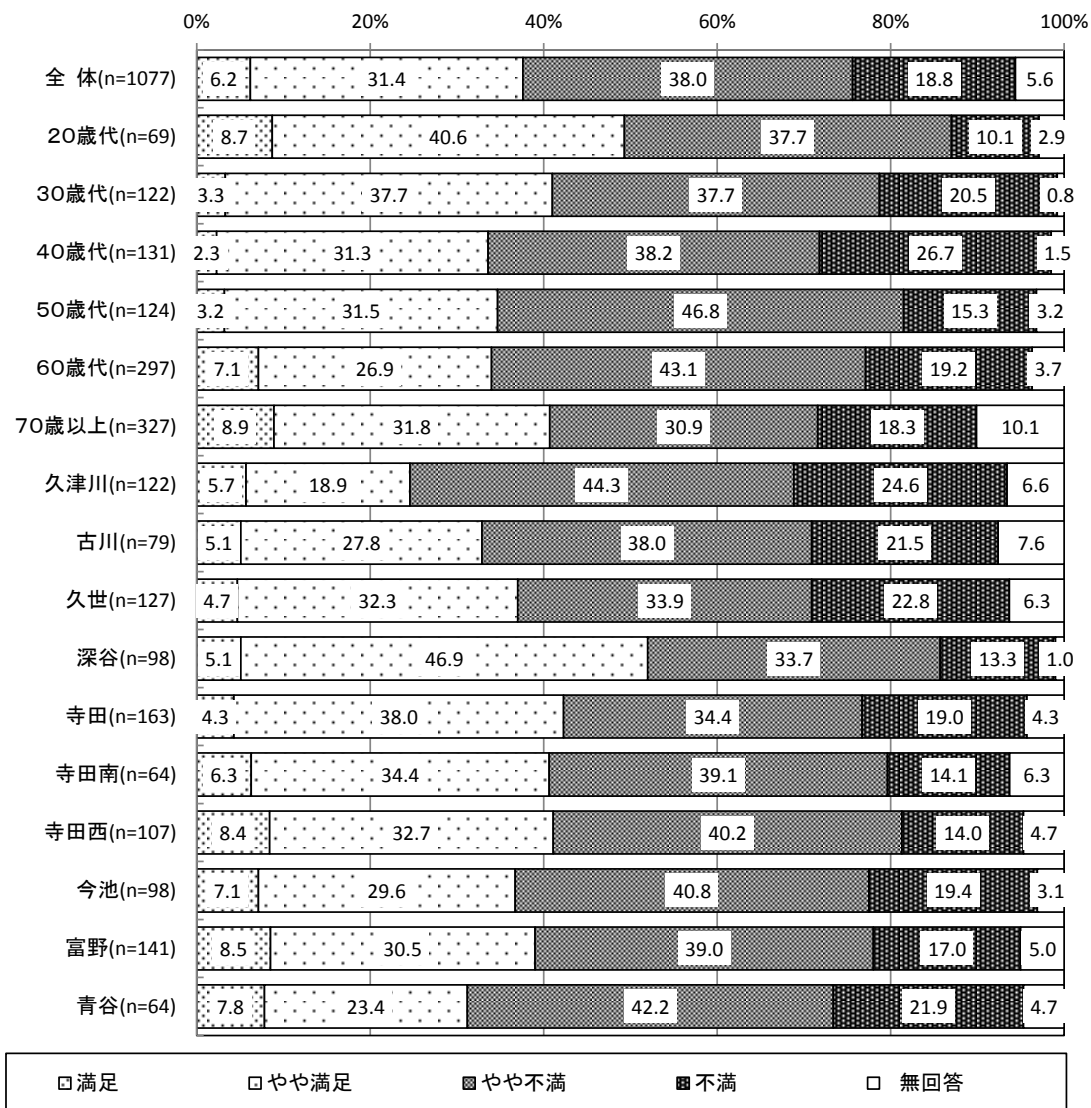


③道路の利用しやすさ・安全性

全体では、「やや不満」と回答した人が38.0%で最も多く、次いで「やや満足」が31.4%、「不満」が18.8%となっている。「不満」と「やや不満」を合計すると約6割の人が道路の利用しやすさ・安全性に対して不満に感じている。

年齢別では、20歳代で「満足」と「やや満足」の合計が全体より高い傾向となっている。

居住地区別では、久津川で「不満」と「やや不満」の合計が全体より高い傾向となっている。一方、深谷で「満足」と「やや満足」の合計が全体より高い傾向となっている。

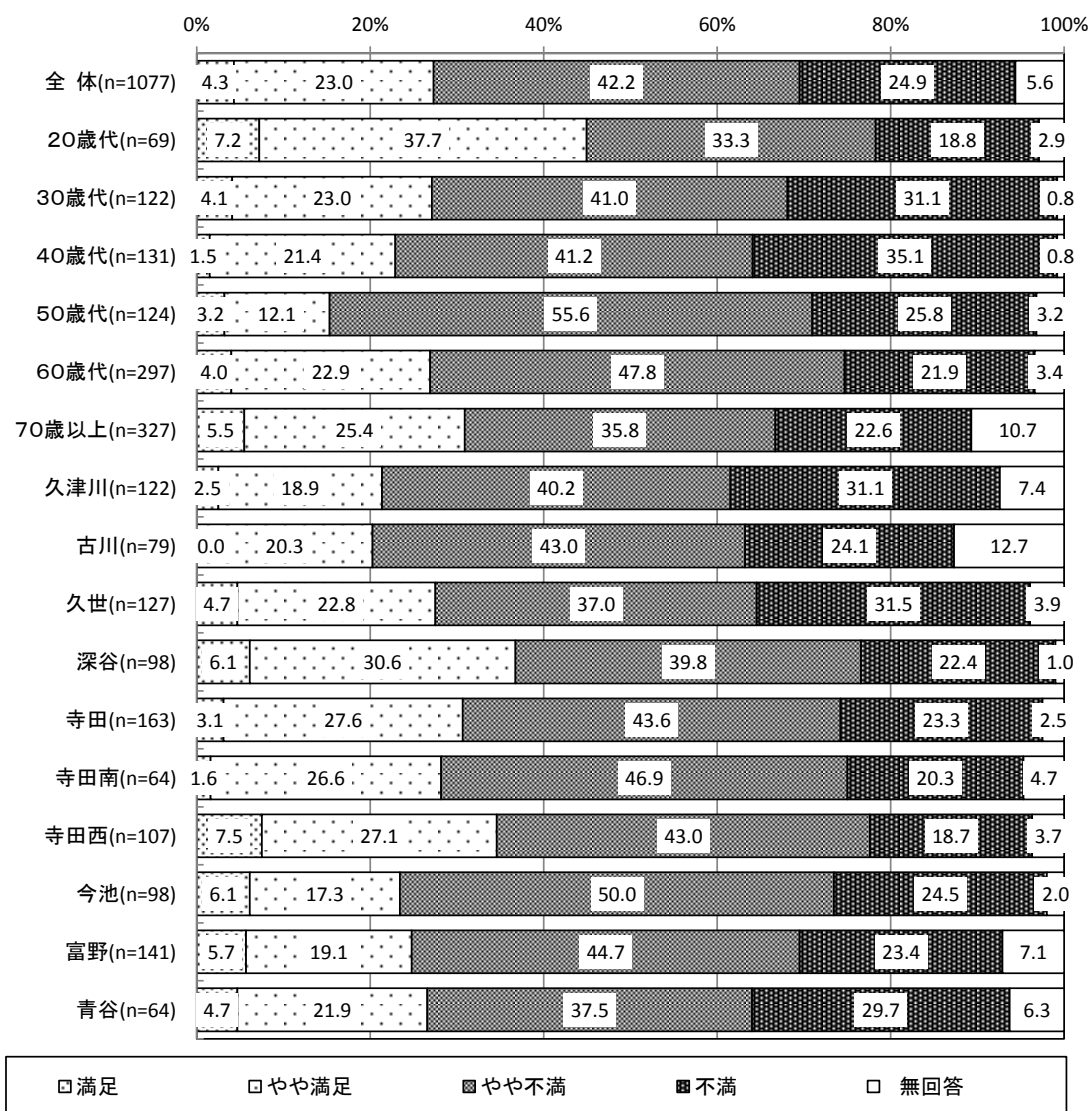


④歩道の利用しやすさ・安全性

全体では、「やや不満」と回答した人が42.2%で最も多く、次いで「不満」が24.9%となっている。「不満」と「やや不満」を合計すると約7割の人が歩道の利用しやすさ・安全性に対して不満に感じている。

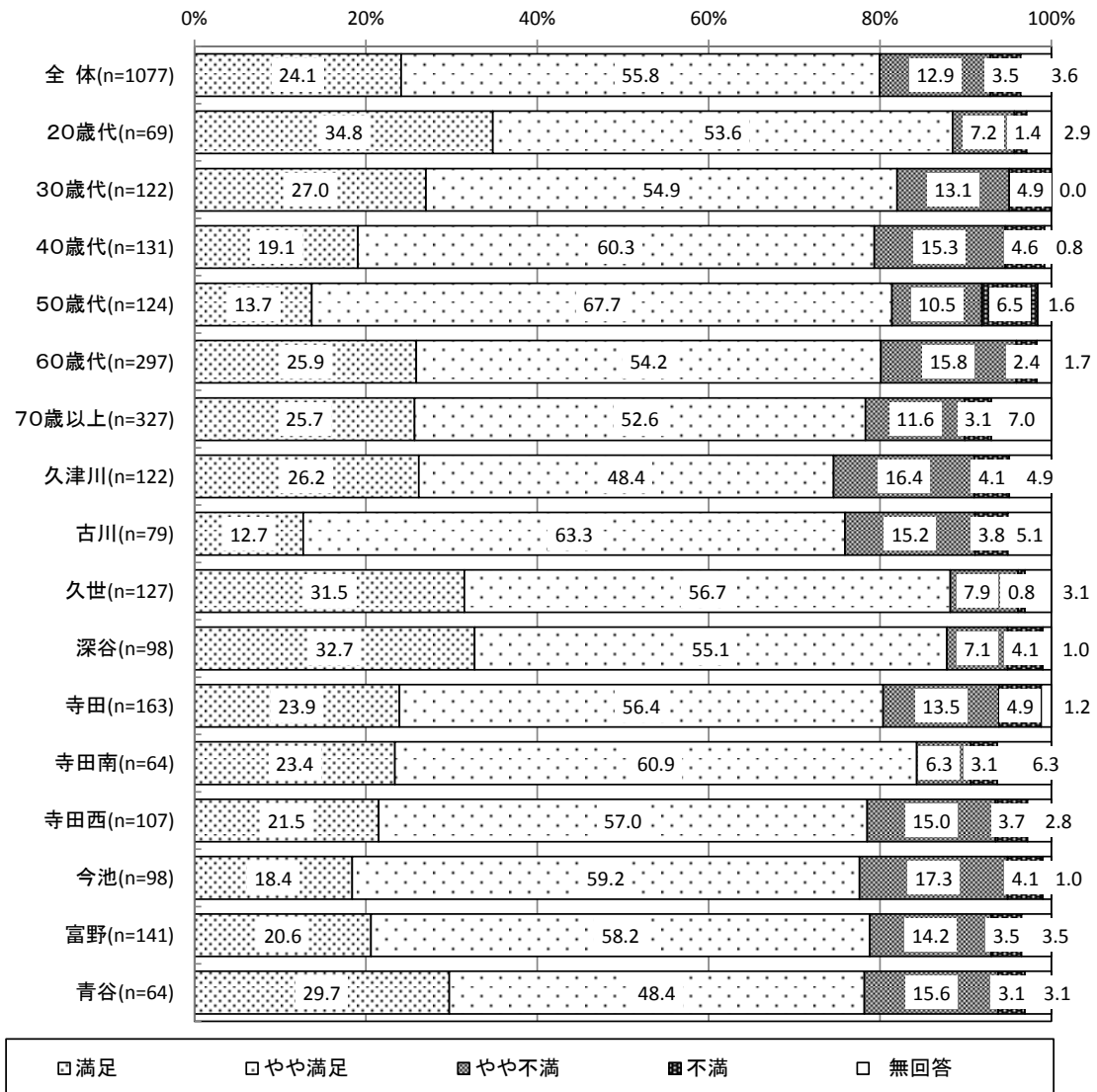
年齢別では、20歳代で「満足」と「やや満足」の合計が全体より高い傾向となっているが、いずれの年齢でも歩道の利用しやすさ・安全性に対して不満に感じている人の割合が高い傾向となっている。特に50歳代では「不満」と「やや不満」の合計が全体より高い傾向となっている。

居住地区別では、いずれの居住地区でも全体と同じ傾向となっている。



⑤居住環境のよさ

全体では、「やや満足」と回答した人が55.8%で最も多く、次いで「満足」が24.1%となっている。「満足」と「やや満足」を合計すると約8割の人が居住環境のよさに対して満足と感じている。年齢別、居住地区別では、いずれも全体と同じ傾向となっている。

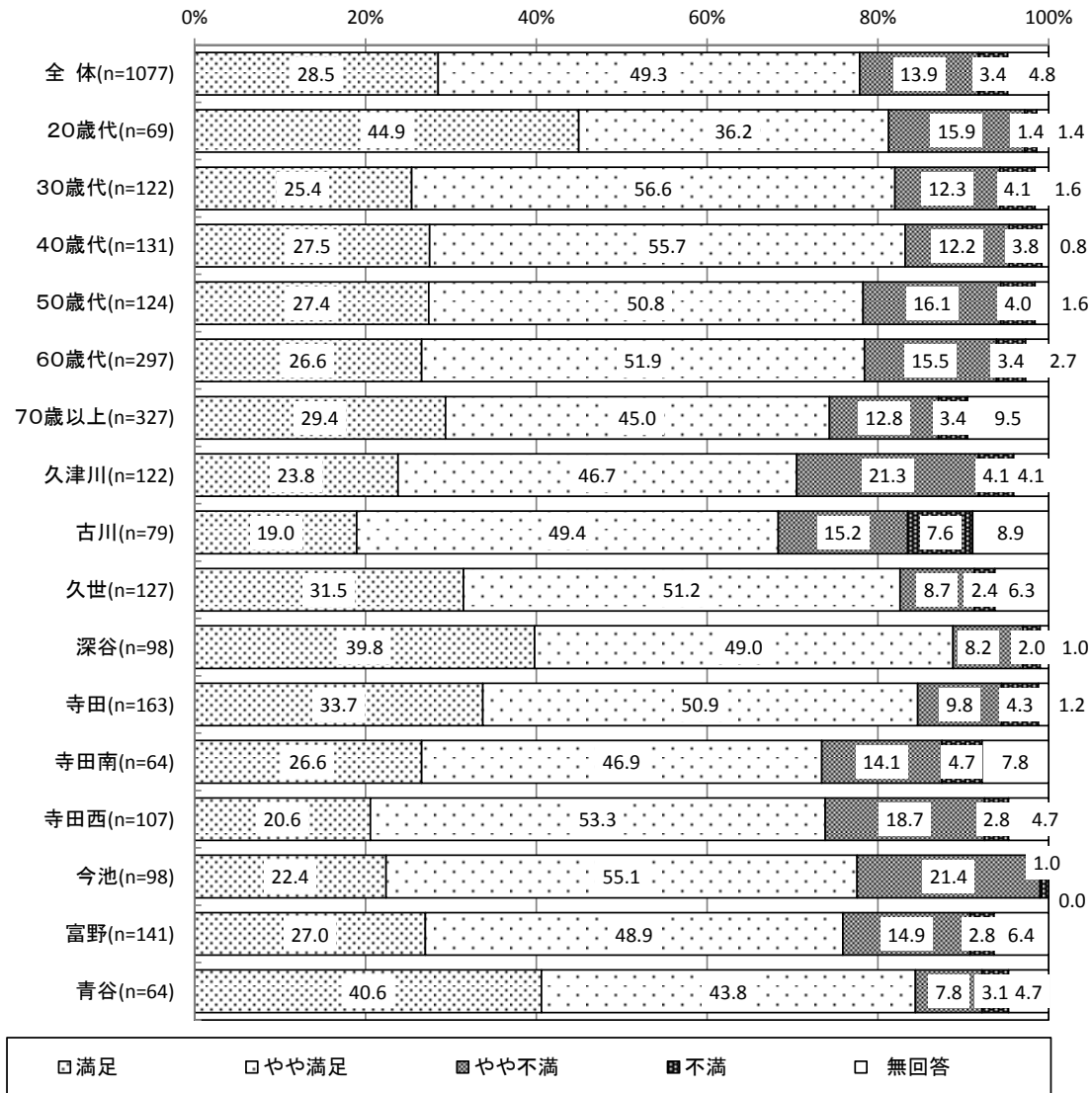


⑥水や緑などの自然環境の豊かさ

全体では、「やや満足」と回答した人が49.3%で最も多く、次いで「満足」が28.5%となっている。「満足」と「やや満足」を合計すると約8割の人が水や緑などの自然環境の豊かさに対して満足と感じている。

年齢別では、いずれの年齢でも全体と同じ傾向となっている。

居住地区別では、深谷で「満足」と「やや満足」の合計が全体より高い傾向となっている。

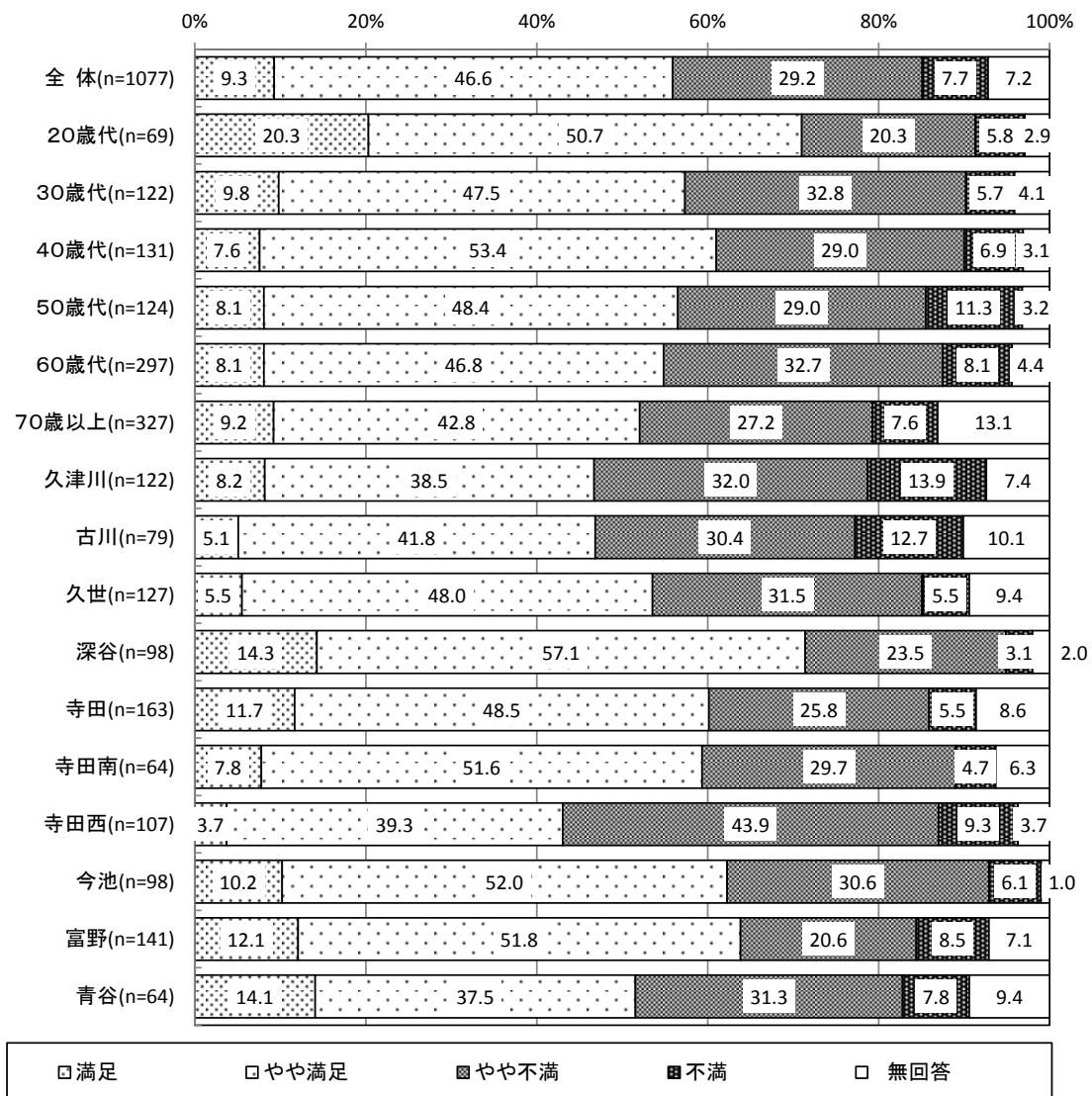


⑦川や池の水のきれいさ

全体では、「やや満足」と回答した人が46.6%で最も多く、次いで「やや不満」が29.2%、「満足」が9.3%となっている。「満足」と「やや満足」を合計すると約6割の人が川の水のきれいさに対して満足と感じているが、「やや不満」と「不満」の合計も約4割となっている。

年齢別では、20歳代で「満足」と「やや満足」の合計が全体より高い傾向となっている。

居住地区別では、深谷で「満足」と「やや満足」の合計が全体より高い傾向となっている。一方、寺田西で「不満」と「やや不満」の合計が全体より高い傾向となっている。

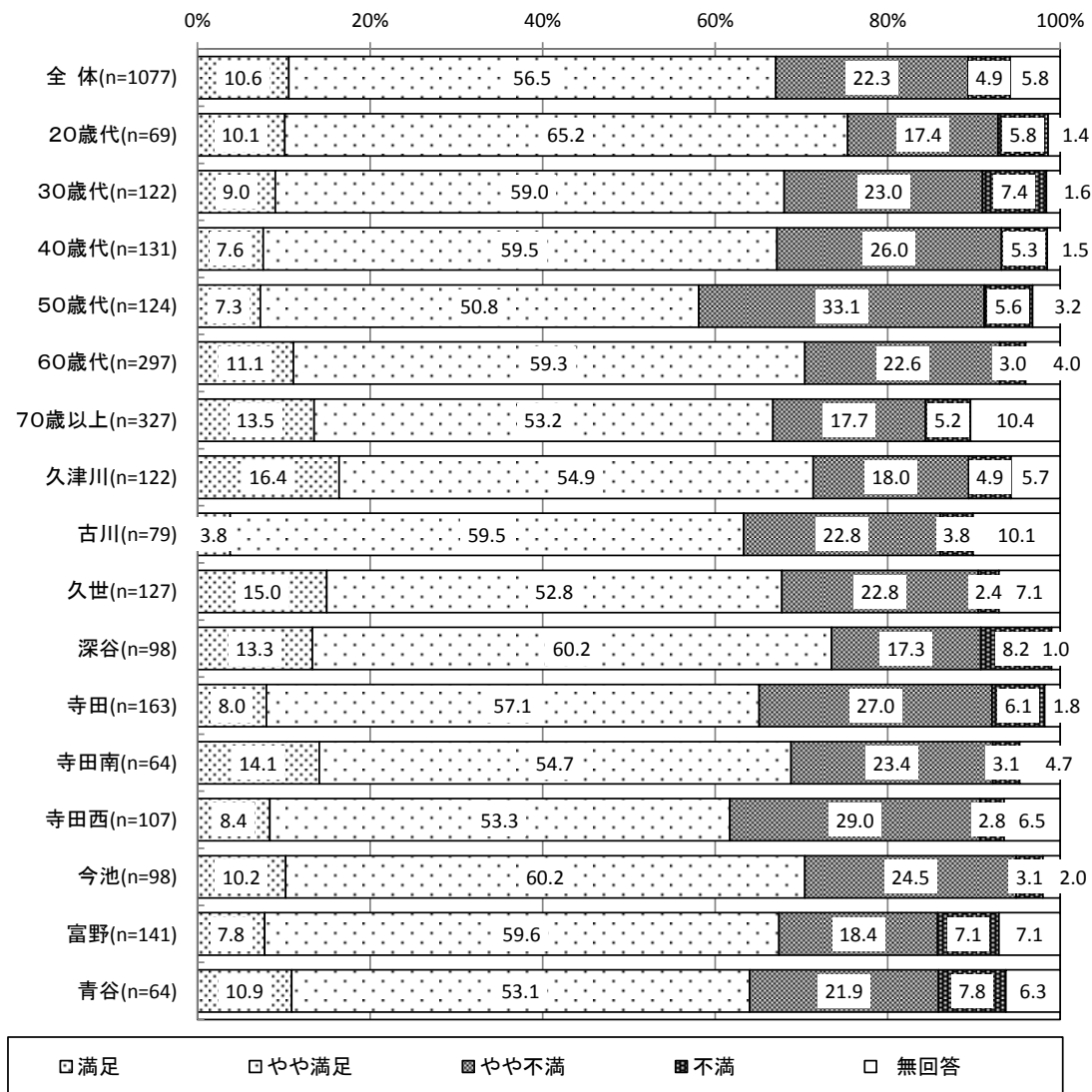


⑧市からの情報発信や情報提供

全体では、「やや満足」と回答した人が56.5%で最も多く、次いで「やや不満」が22.3%、「満足」が10.6%となっている。「満足」と「やや満足」を合計すると約7割の人が市からの情報発信や情報提供に対して満足と感じている。

年齢別では、50歳代で「やや不満」と「不満」の合計が全体より高い傾向となっている。

居住地区別では、いずれの居住地区でも全体と同じ傾向となっている。



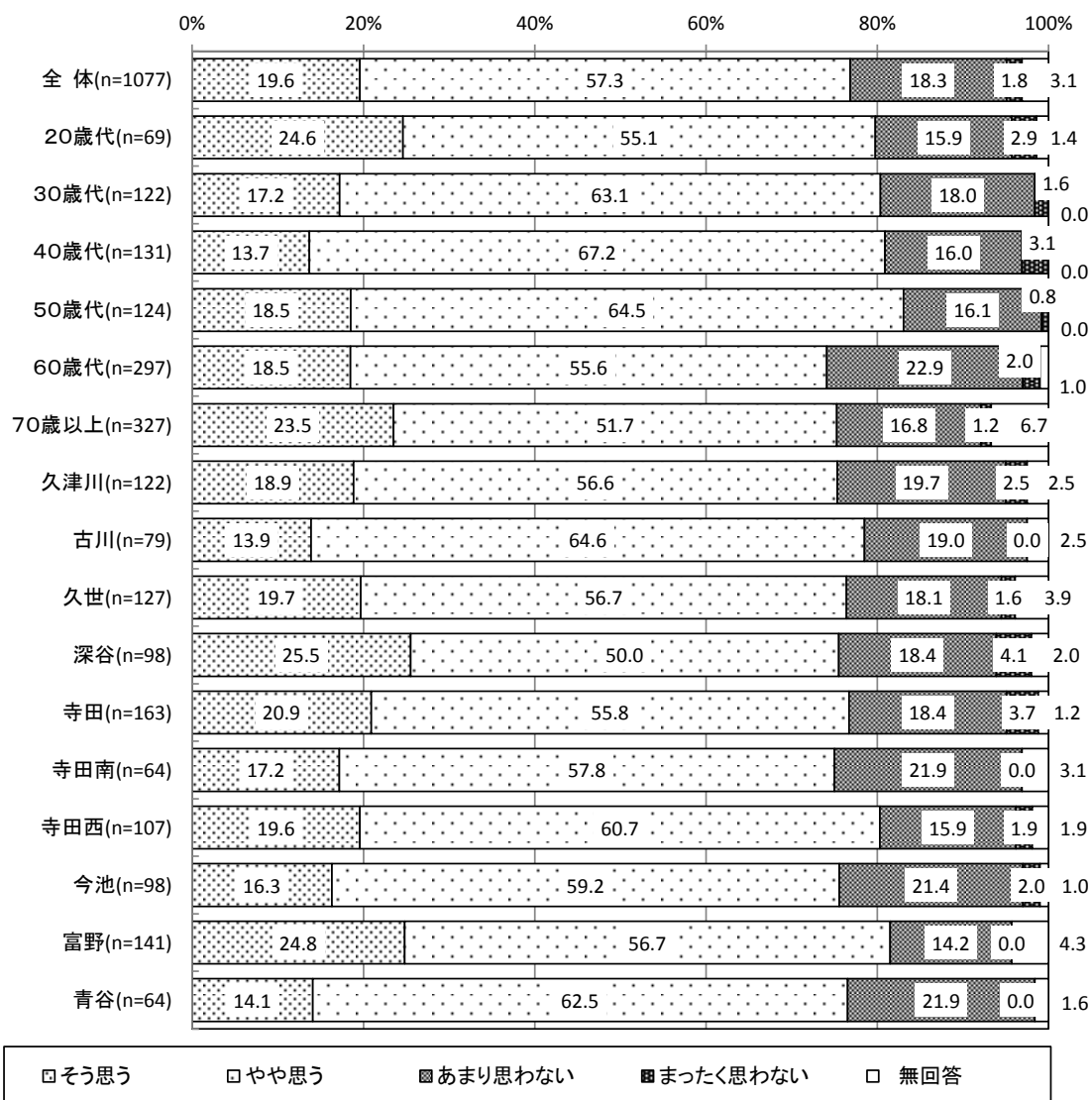
Ⅲ. 日常生活について

(1) あなたの普段の生活に関して、次の項目についておたずねします。あなたの実感に最も近い番号を1つ選んで○をつけてください。

①防犯の面からみて、安全に暮らせるまちである

全体では、「やや思う」と回答した人が57.3%で最も多く、次いで「そう思う」が19.6%となっている。「そう思う」と「やや思う」を合計すると約8割の人が防犯の面からみて、安全に暮らせるまちであると感じている。

年齢別、居住地区別とも全体と同じ傾向となっている。

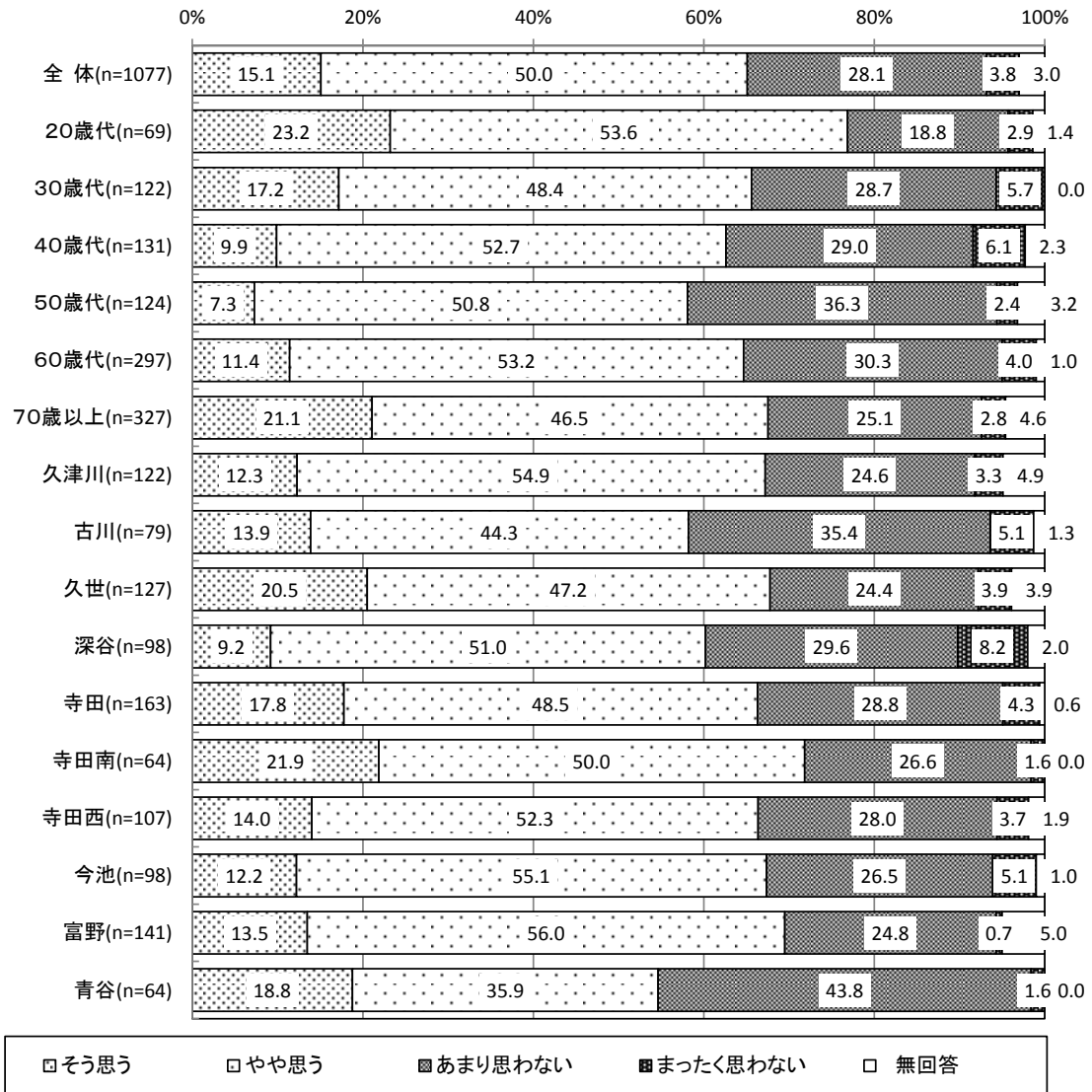


②高齢になっても、地域で安心して暮らせるまちである

全体では、「やや思う」と回答した人が 50.0%で最も多く、次いで「あまり思わない」が 28.1%、「そう思う」が 15.1%となっている。「そう思う」と「やや思う」を合計すると約7割の人が、地域で安心して暮らせるまちだと感じている。

年齢別では、20歳代で「そう思う」と「やや思う」の合計が全体より高い傾向となっている。

居住地区別では、いずれの居住地区でも全体と同じ傾向となっている。

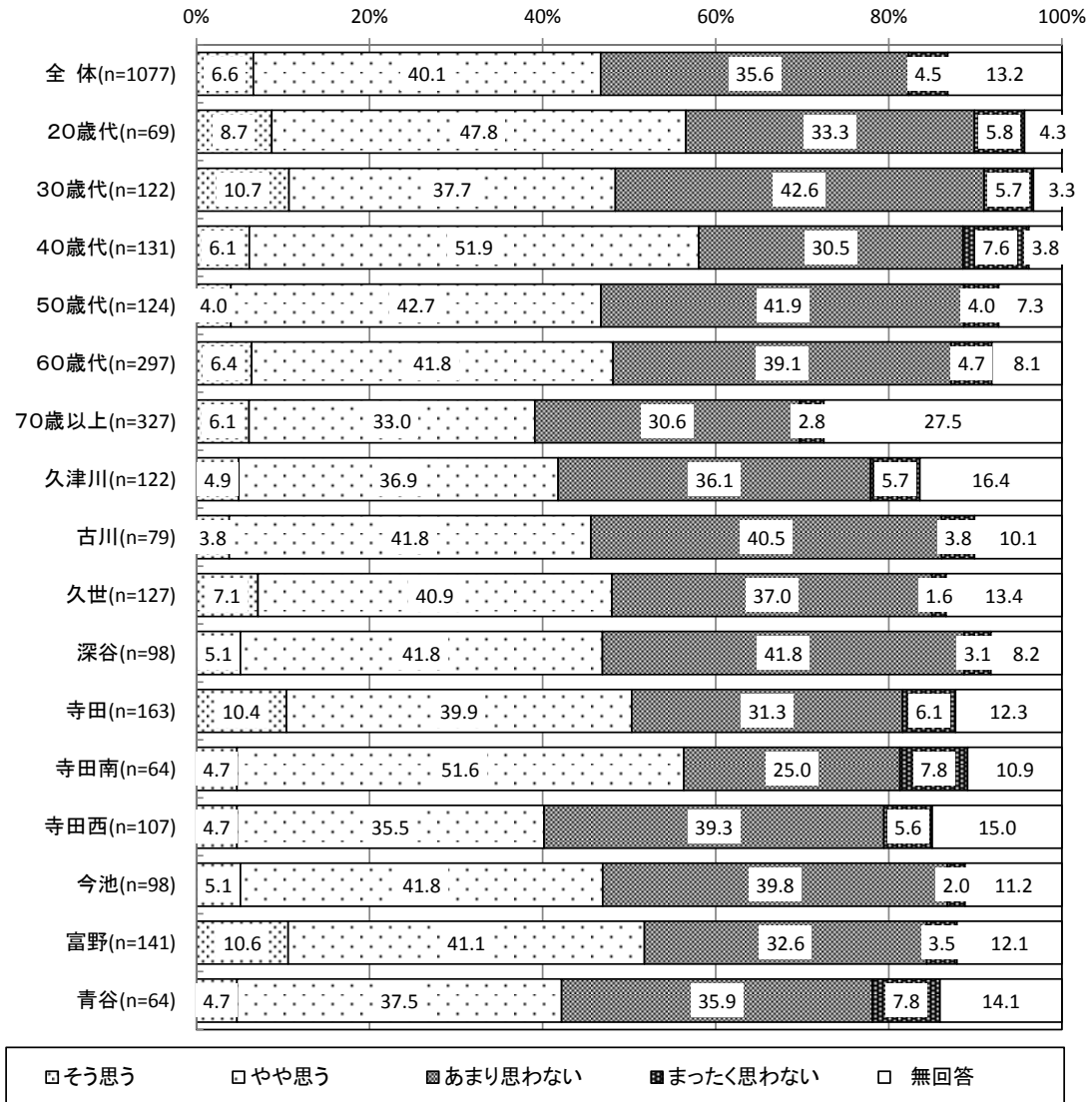


③働くことと子育てが両立できる環境が整っている

全体では、「やや思う」と回答した人が 40.1%で最も多く、次いで「あまり思わない」が 35.6%、「そう思う」が 6.6%となっている。「そう思う」と「やや思う」を合計すると約5割の人が働くことと子育てが両立できる環境が整っていると感じている。

年齢別では、40歳代で「そう思う」と「やや思う」の合計が全体より高い傾向となっている。

居住地区別では、いずれの居住地区でも全体と同じ傾向となっている。

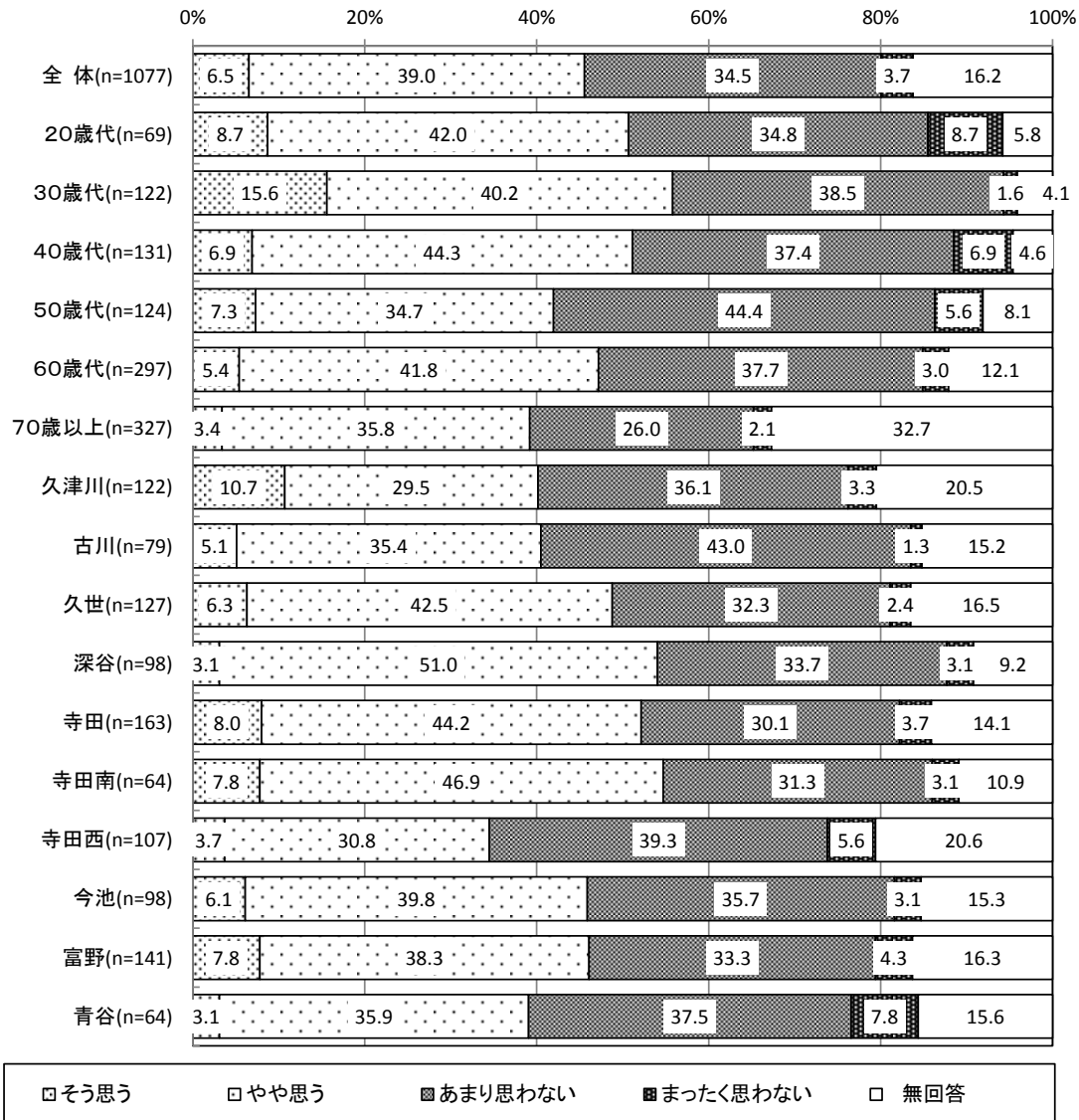


④育児について相談できる場が整っている

全体では、「やや思う」と回答した人が 39.0%で最も多く、次いで「あまり思わない」が 34.5%、「そう思う」が 6.5%となっている。「そう思う」と「やや思う」を合計すると約5割の人が育児について相談できる場が整っていると感じている。

年齢別では、30歳代で「そう思う」と「やや思う」の合計が全体より高い傾向となっている。一方、50歳代で「思わない」と「あまり思わない」の合計が全体より高い傾向となっている。

居住地区別では、いずれの居住地区でも全体と同じ傾向となっている。

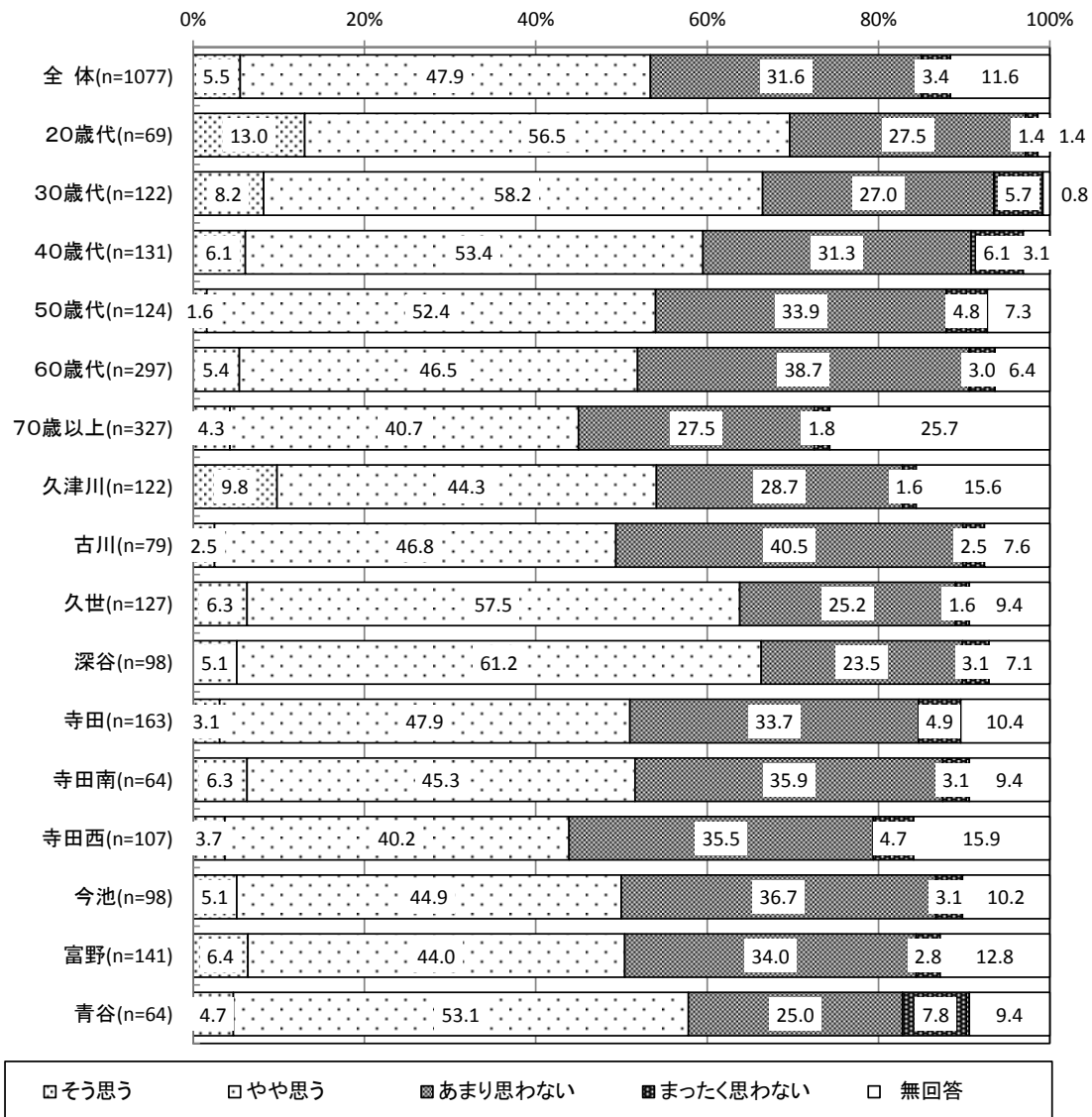


⑤青少年が安全で健やかに育つ環境が整っている

全体では、「やや思う」と回答した人が 47.9%で最も多く、次いで「あまり思わない」が 31.6%、「そう思う」が 5.5%となっている。「そう思う」と「やや思う」を合計すると約5割の人で青少年が安全で健やかに育つ環境が整っていると感じている。

年齢別では、20歳代、30歳代で「そう思う」と「やや思う」の合計が全体より高い傾向となっている。

居住地区別では、久世、深谷で「そう思う」と「やや思う」の合計が全体より高い傾向となっている。

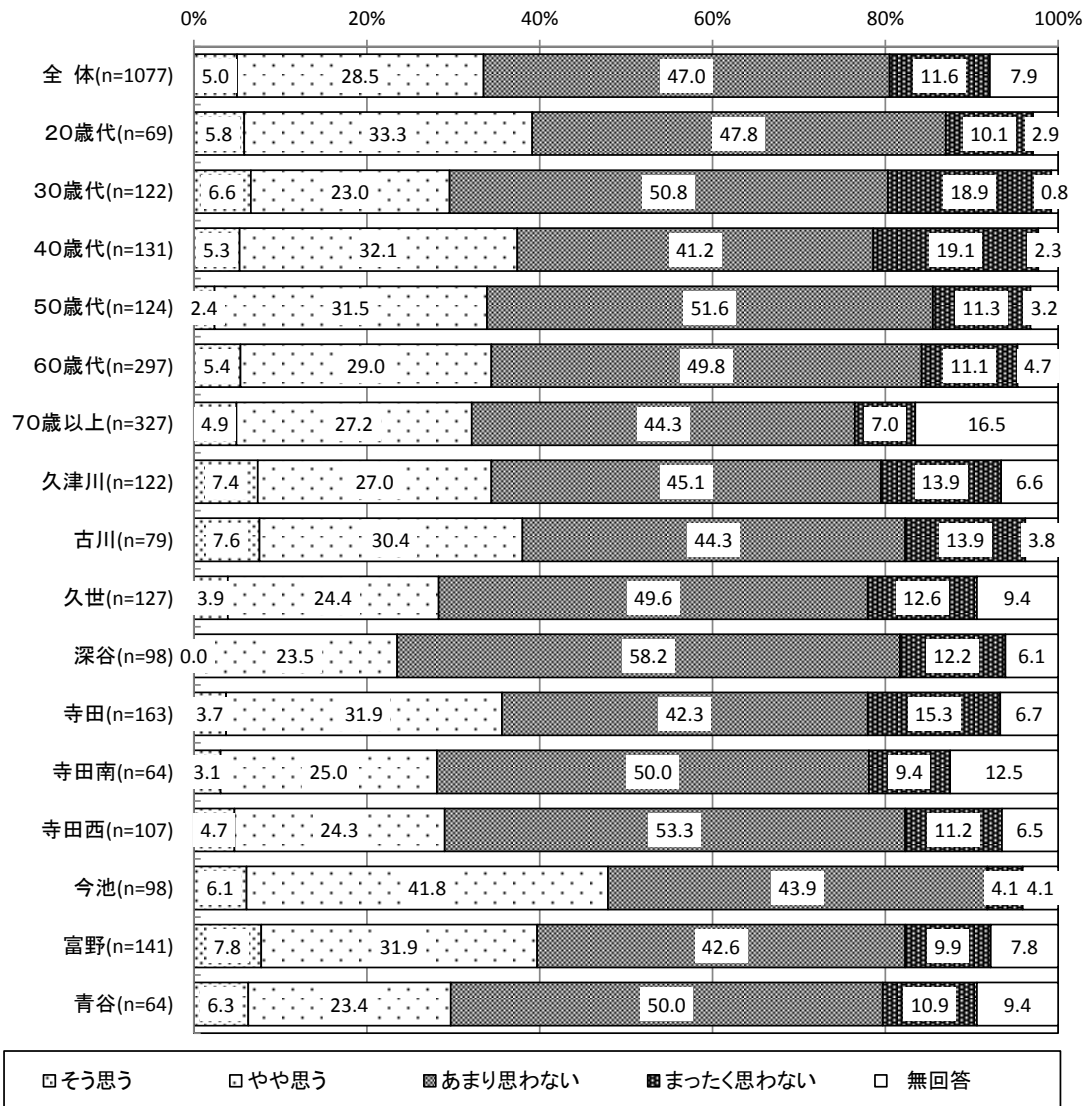


⑥市内を流れる川について、親しみやすい

全体では、「あまり思わない」と回答した人が 47.0%で最も多く、次いで「やや思う」が 28.5%、「まったく思わない」が 11.6%となっている。「あまり思わない」と「まったく思わない」を合計すると約 6 割の人が市内を流れる川について、親しみやすいと感じていない。

年齢別では、30 歳代で「あまり思わない」と「まったく思わない」の合計が全体より高い傾向となっている。

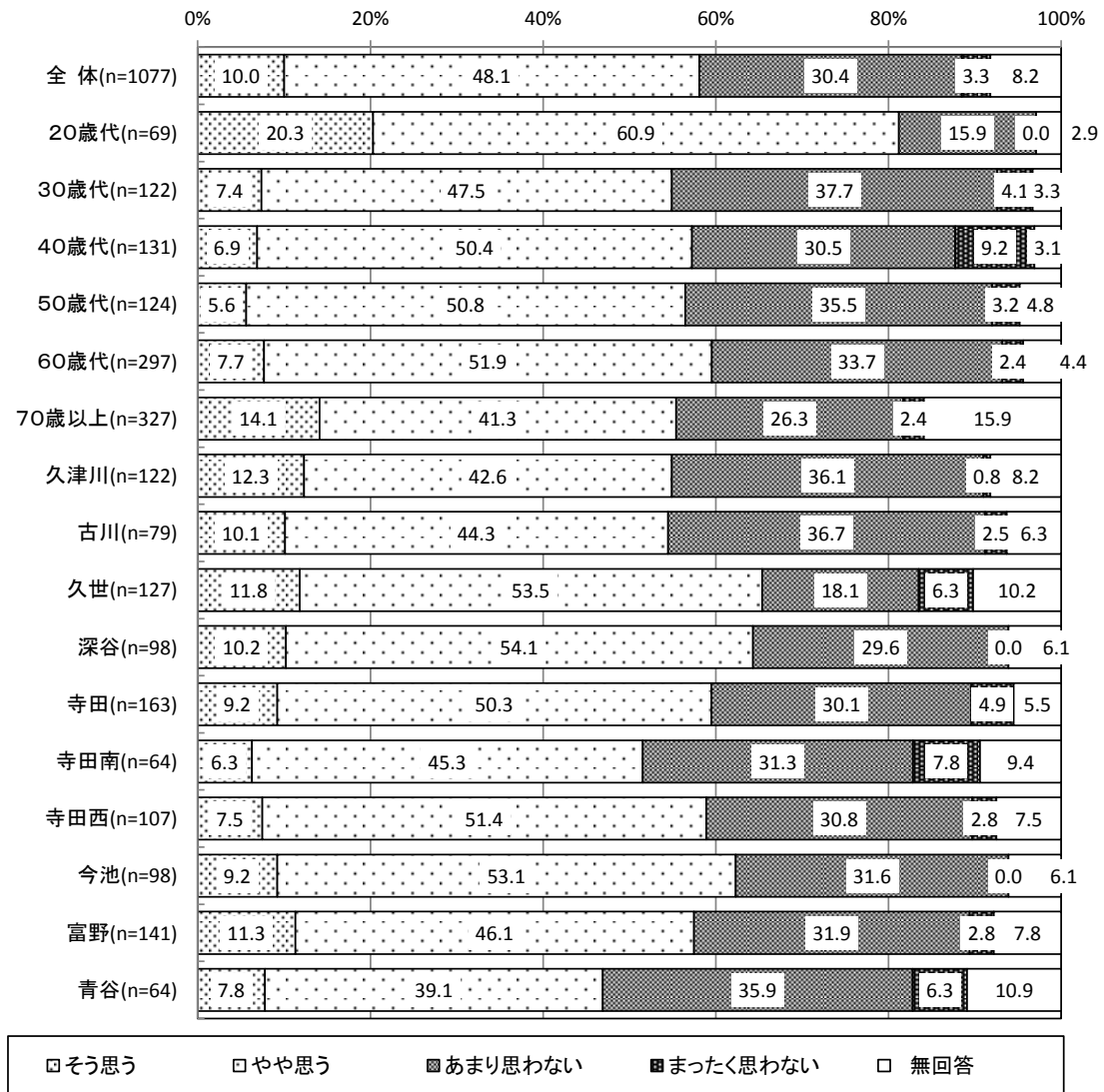
居住地区別では、深谷で「あまり思わない」と「まったく思わない」の合計が全体より高い傾向となっている。一方、今池で「そう思う」と「やや思う」の合計が全体より高い傾向となっている。



⑦男女が平等である

全体では、「やや思う」と回答した人が 48.1%で最も多く、次いで「あまり思わない」が 30.4%、「そう思う」が 10.0%となっている。「そう思う」と「やや思う」を合計すると約6割の人が男女は平等であると感じている。

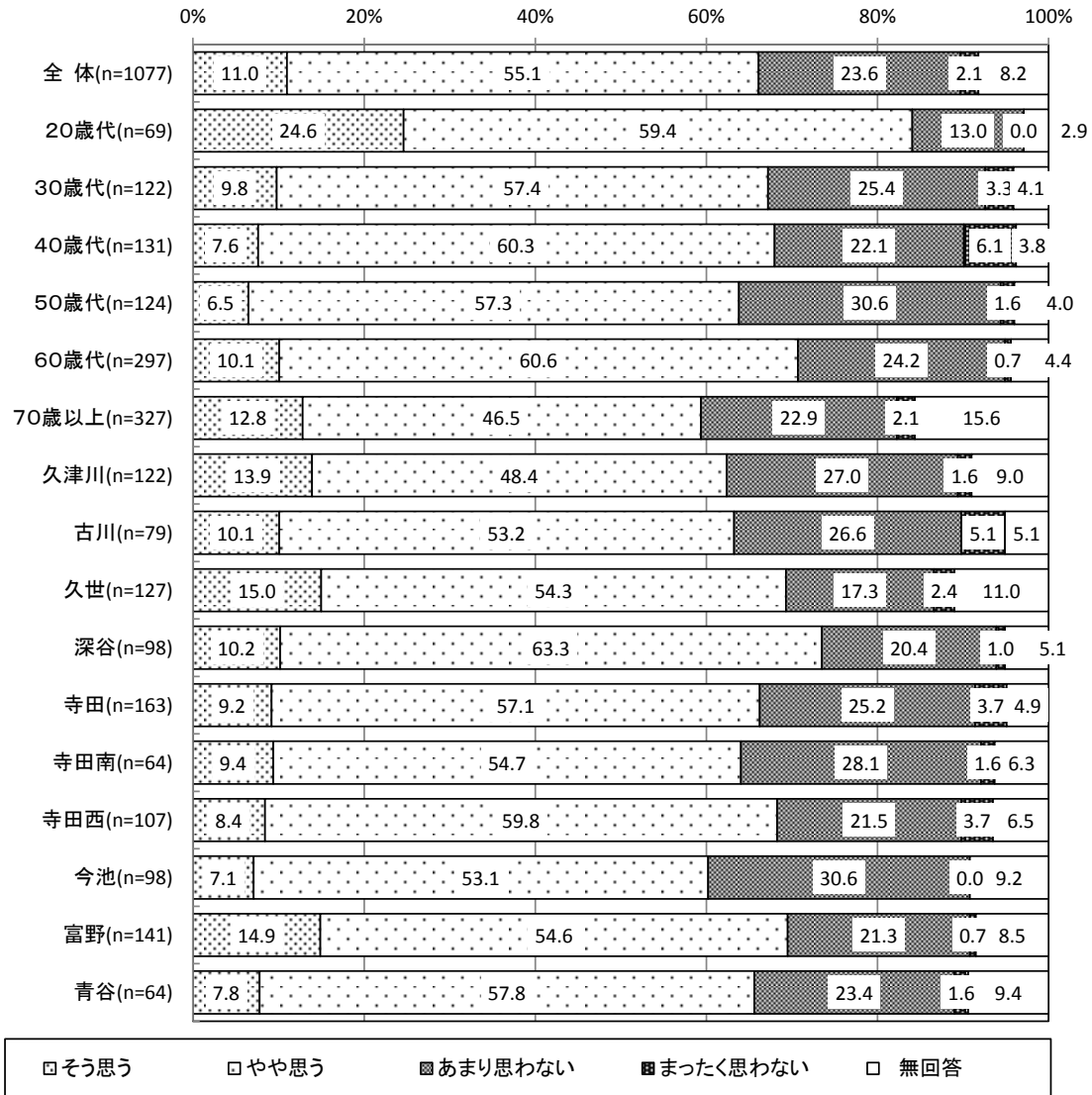
年齢別では、20歳代で「そう思う」と「やや思う」の合計が全体より高い傾向となっている。居住地区別では、いずれの居住地区でも全体と同じ傾向となっている。



⑧人権が尊重されている

全体では、「やや思う」と回答した人が 55.1%で最も多く、次いで「あまり思わない」が 23.6%、「そう思う」が 11.0%となっている。「そう思う」と「やや思う」を合計すると約7割の人が人権は尊重されていると感じている。

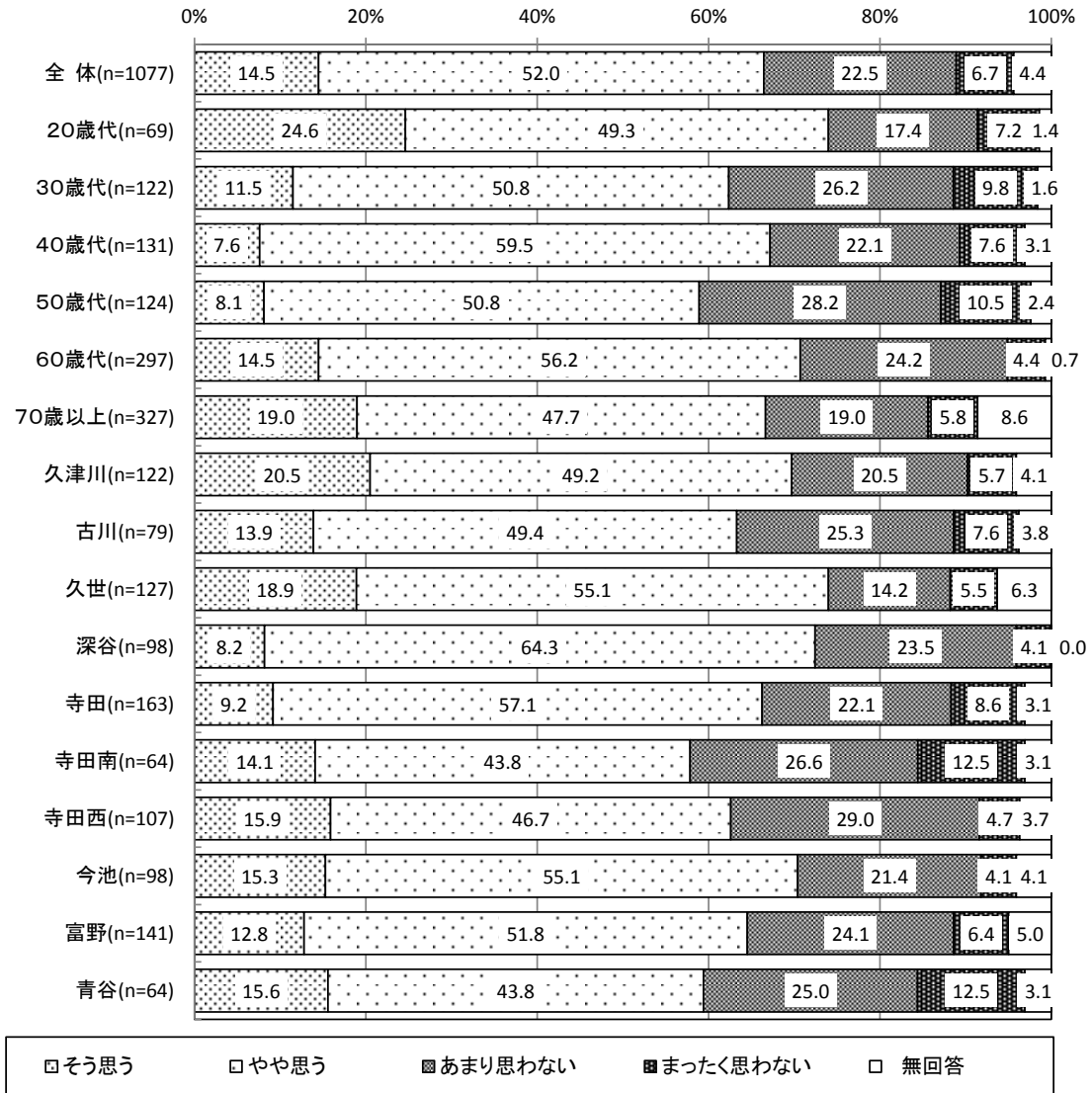
年齢別では、20歳代で「そう思う」と「やや思う」の合計が全体より高い傾向となっている。居住地区別では、いずれの居住地区でも全体と同じ傾向となっている。



⑨市役所職員の仕事や対応が信頼できる

全体では、「やや思う」と回答した人が 52.0%で最も多く、次いで「あまり思わない」が 22.5%、「そう思う」が 14.5%となっている。「そう思う」と「やや思う」を合計すると約7割の人が市役所職員の仕事や対応を信頼できると感じている。

年齢別、居住地区別とも、全体と同じ傾向となっている。



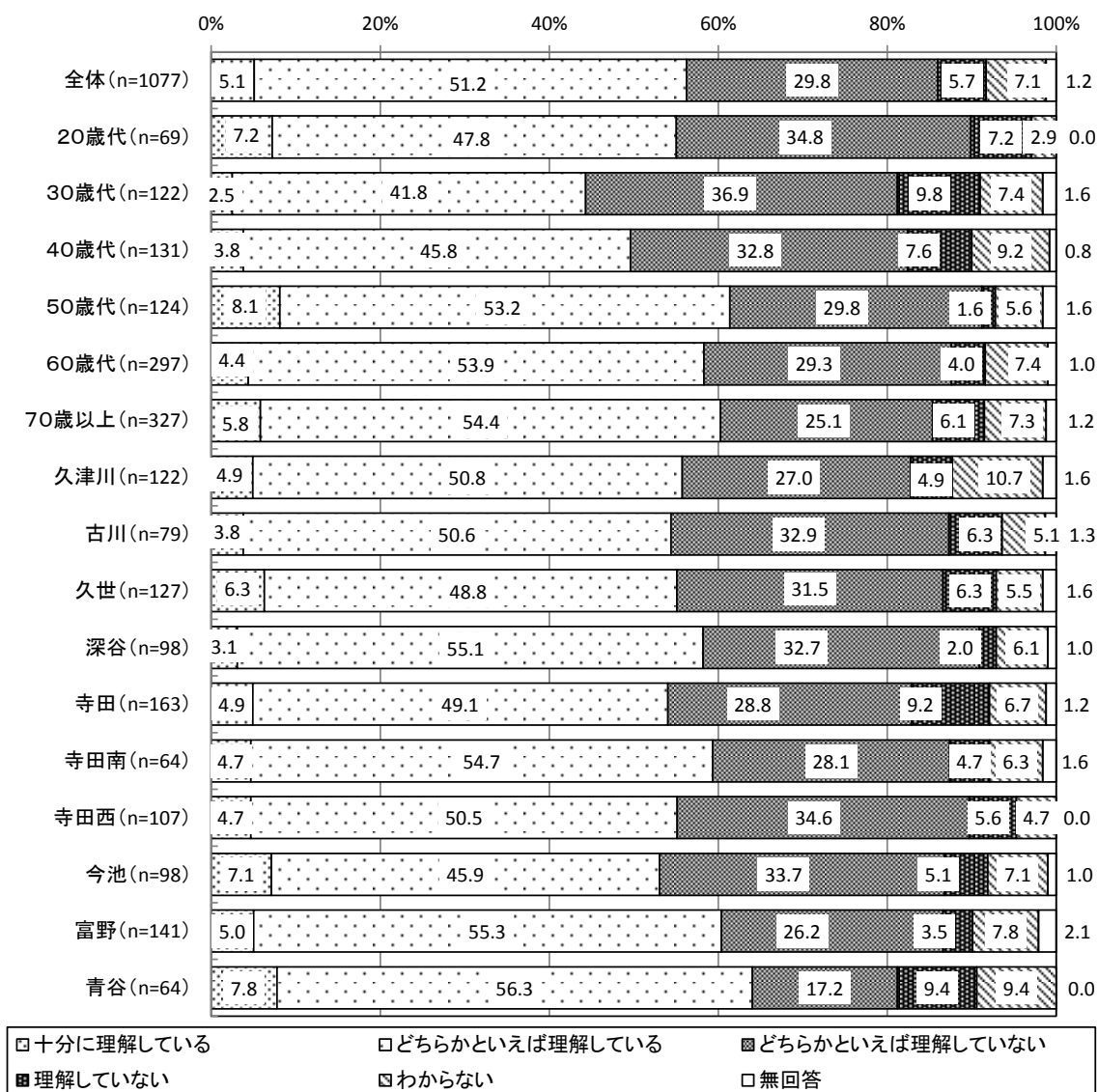
(2) あなたは地震などの災害が起きたときに、何をすべきか理解していますか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

全体では、「どちらかといえば理解している」と回答した人が 51.2%で最も多く、次いで「どちらかといえば理解していない」が 29.8%となっている。

「十分に理解している」と「どちらかといえば理解している」を合計すると、約6割の人が災害時に何をすべきか理解している。

年齢別では、30歳代で「十分に理解している」と「どちらかといえば理解している」の合計が全体よりも低い傾向となっている。

居住地区別では、いずれの居住地区でも全体と同じ傾向となっている。

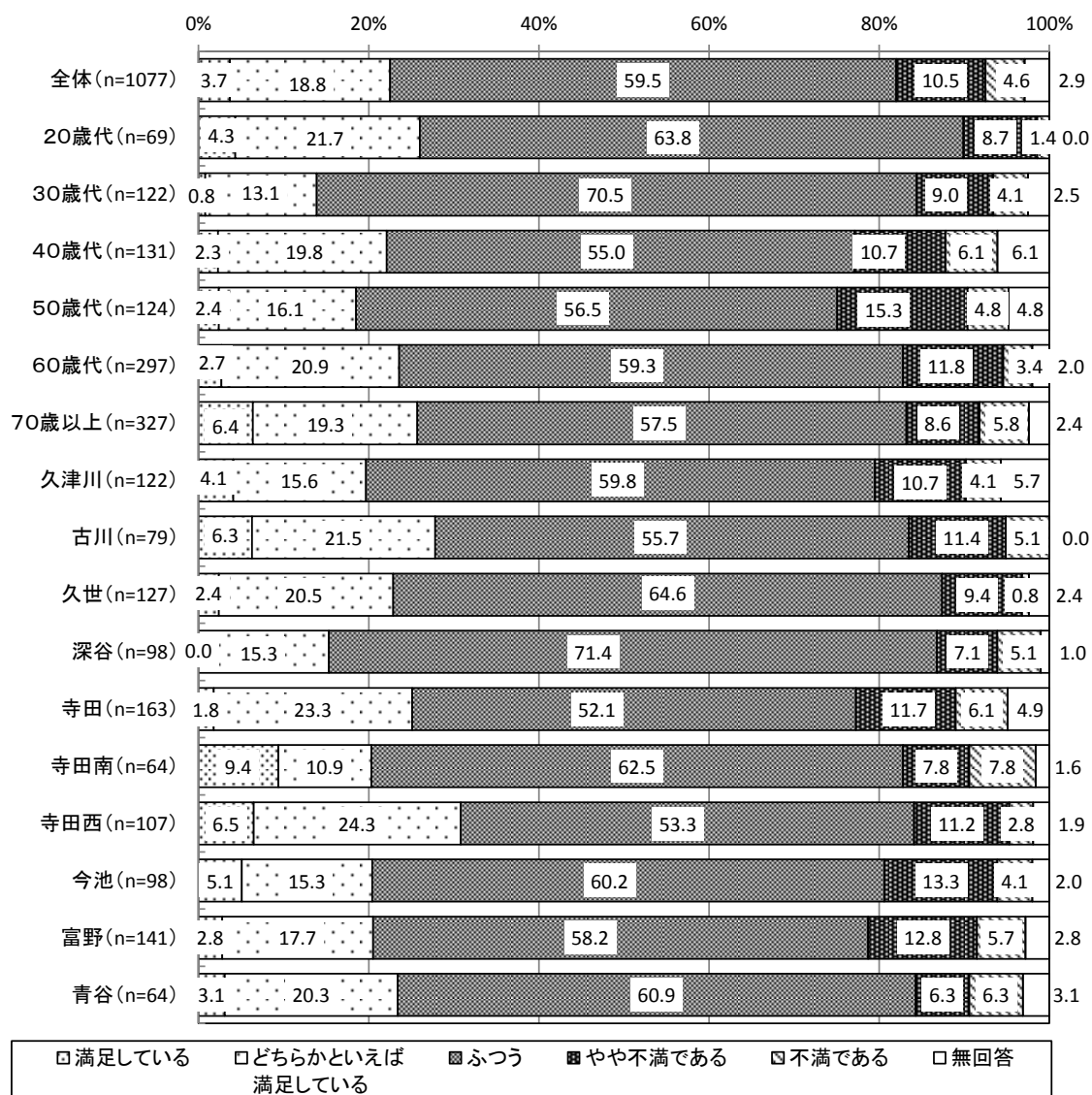


(3) 高齢者の健康づくりや生きがいづくりなど高齢者福祉を充実する取り組みに満足していますか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

全体では、「ふつう」と回答した人が59.5%で最も多く、次いで、「どちらかといえば満足している」と回答した人が18.8%となっている。

年齢別では、50歳代で「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計が、「やや不満である」と「不満である」の合計よりも低い傾向となっている。

居住地区別では、いずれの居住地区でも全体と同じ傾向となっている。

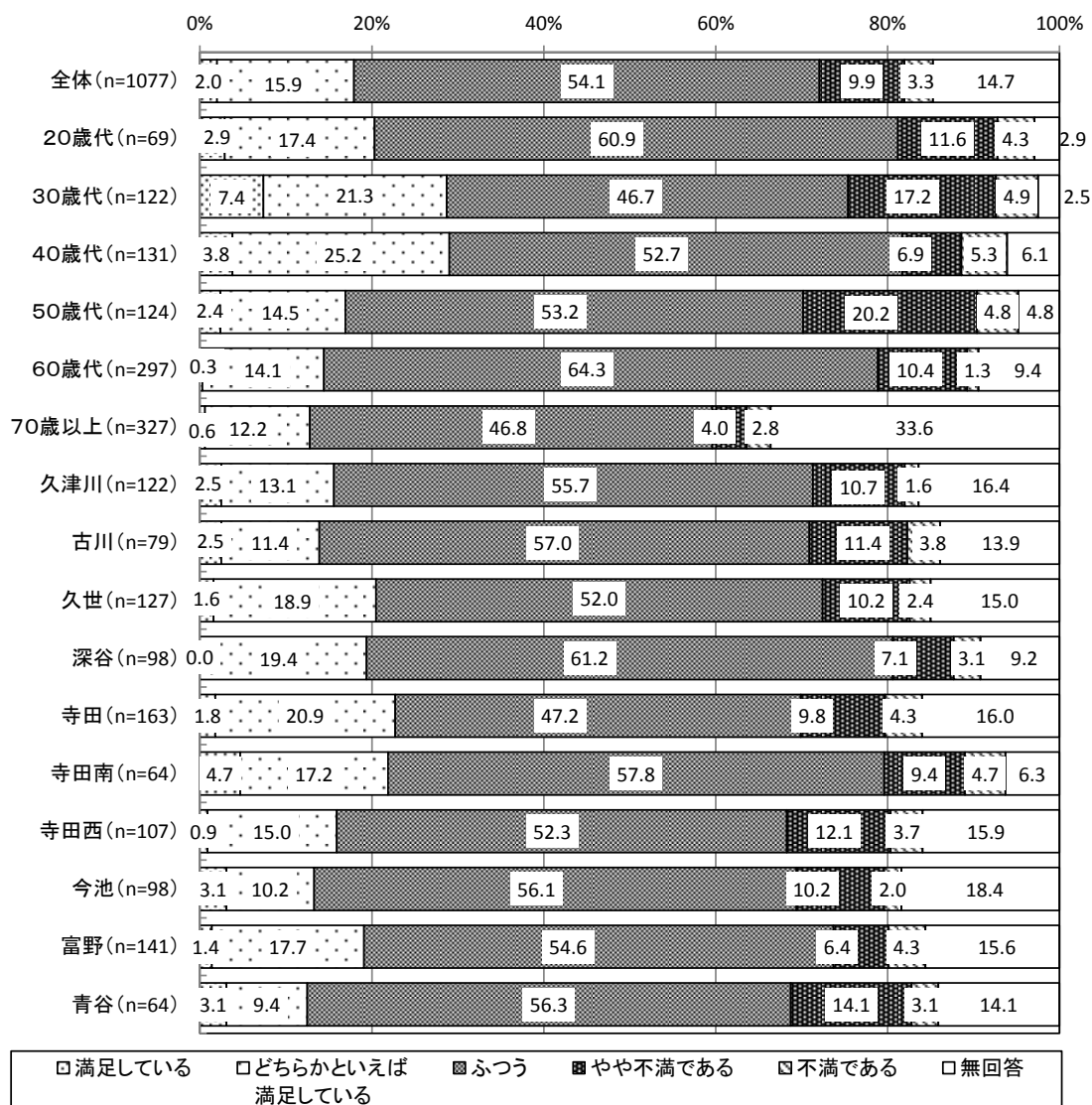


(4) 子育てに関する相談や情報提供など子育てしやすい環境づくりを推進する取り組みに満足していますか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

全体では、「ふつう」と回答した人が54.1%で最も多く、次いで、「どちらかといえば満足している」と回答した人が15.9%となっている。

年齢別では、50歳代で「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計が、「やや不満である」と「不満である」の合計よりも低い傾向となっている。

居住地区別では、いずれの居住地区でも全体と同じ傾向となっている。

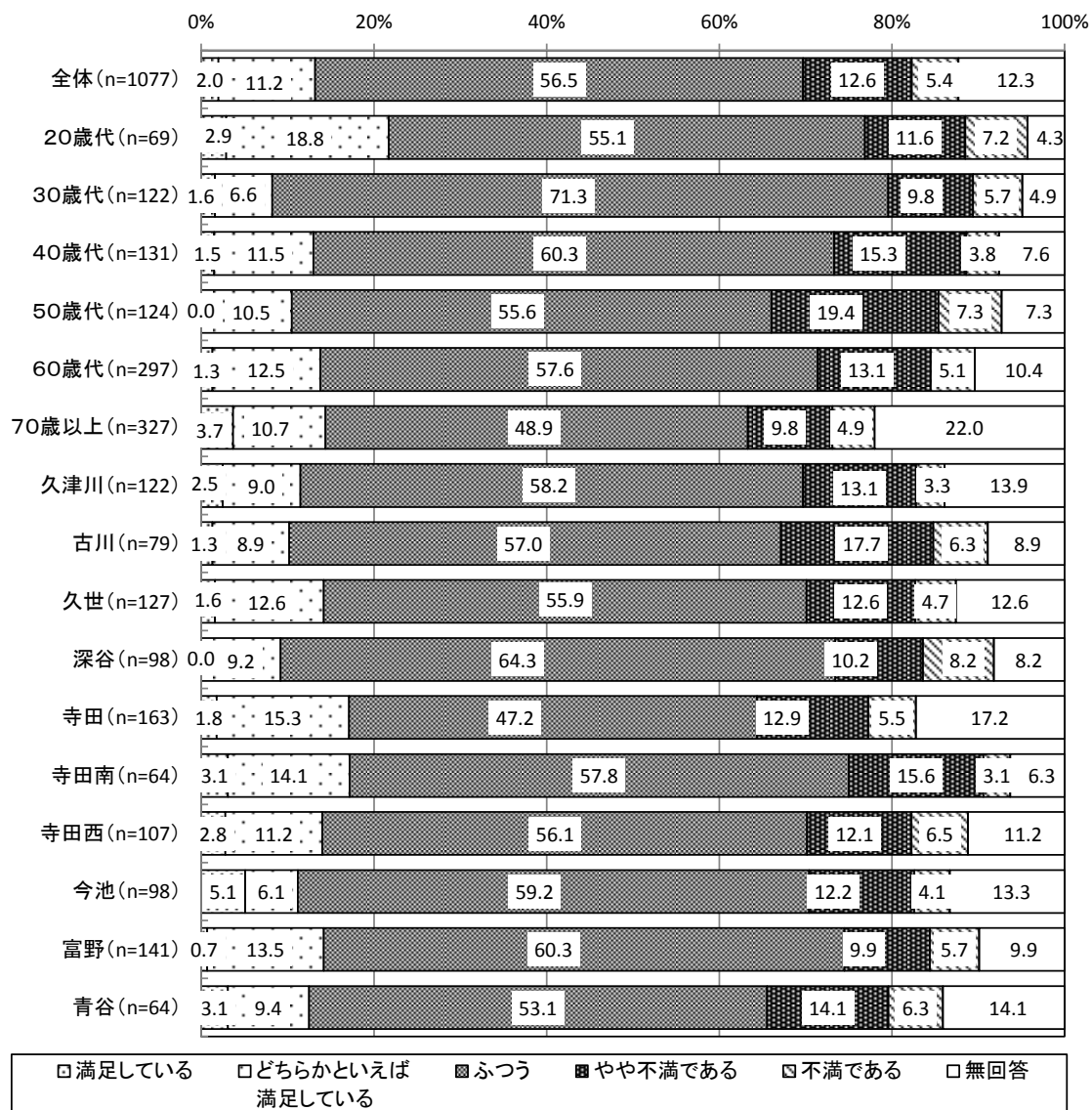


(5) 障がいのある人が自立した生活を営む環境をつくる取り組みに満足していますか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

全体では、「ふつう」と回答した人が56.5%で最も多く、次いで、「やや不満である」と回答した人が12.6%となっている。

年齢別では、20歳代で「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計が、「やや不満である」と「不満である」の合計よりも高い傾向となっている。

居住地区別では、いずれの居住地区でも全体と同じ傾向となっている。

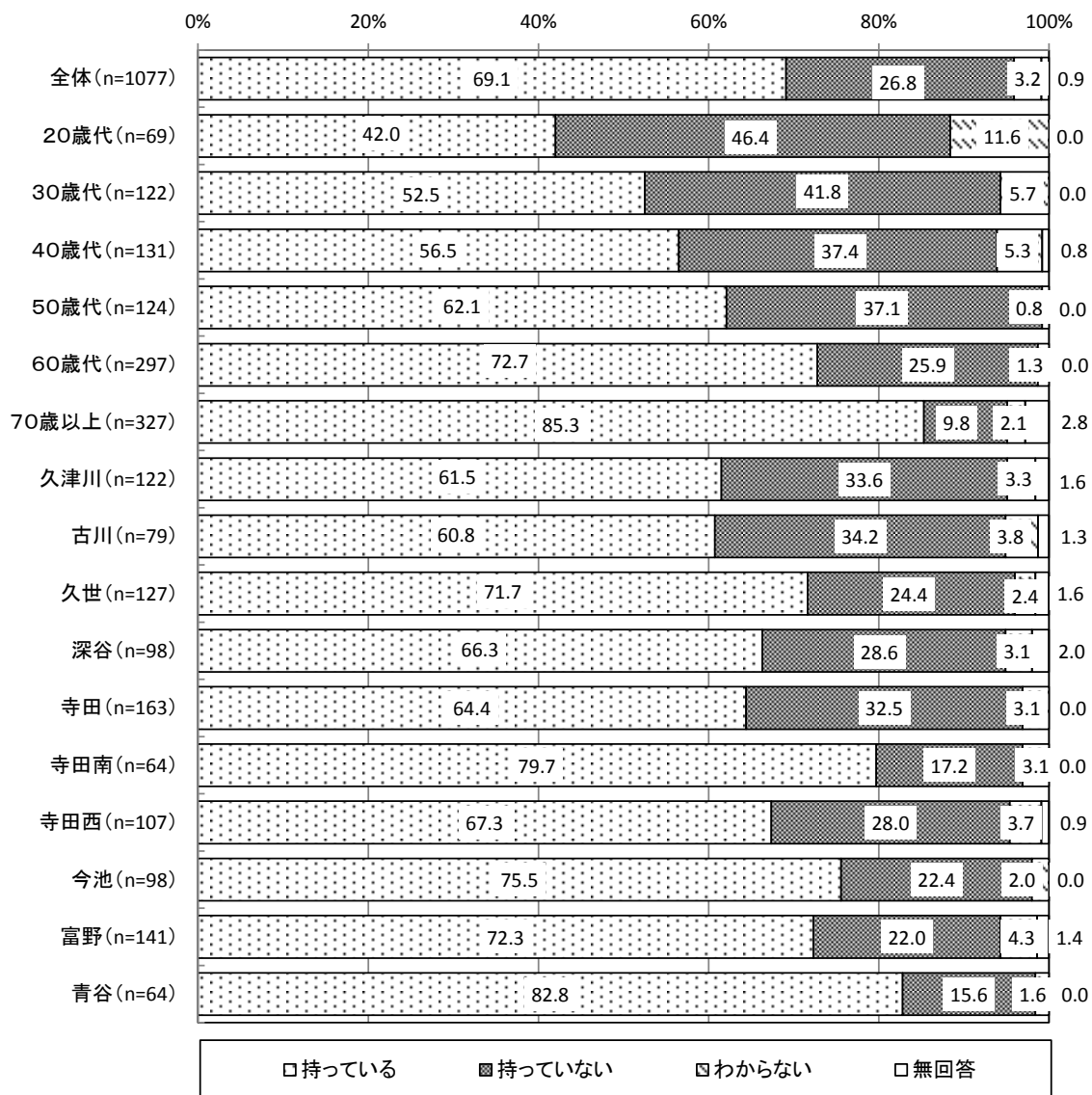


(6) あなたは“かかりつけ医”を持っていますか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

全体では、「持っている」と回答した人が 69.1%、「持っていない」と回答した人が 26.8%となっている。

年齢別では、年齢層が高くなるにつれて「持っている」と回答した人が高くなり、特に 70 歳以上では「持っている」と回答した人が約 9 割を占めている。一方、20 歳代、30 歳代では「持っている」と回答した人と「持っていない」と回答した人が同程度となっている。

居住地区別では、寺田南、青谷で「持っている」と回答した人が全体より高くなっている。

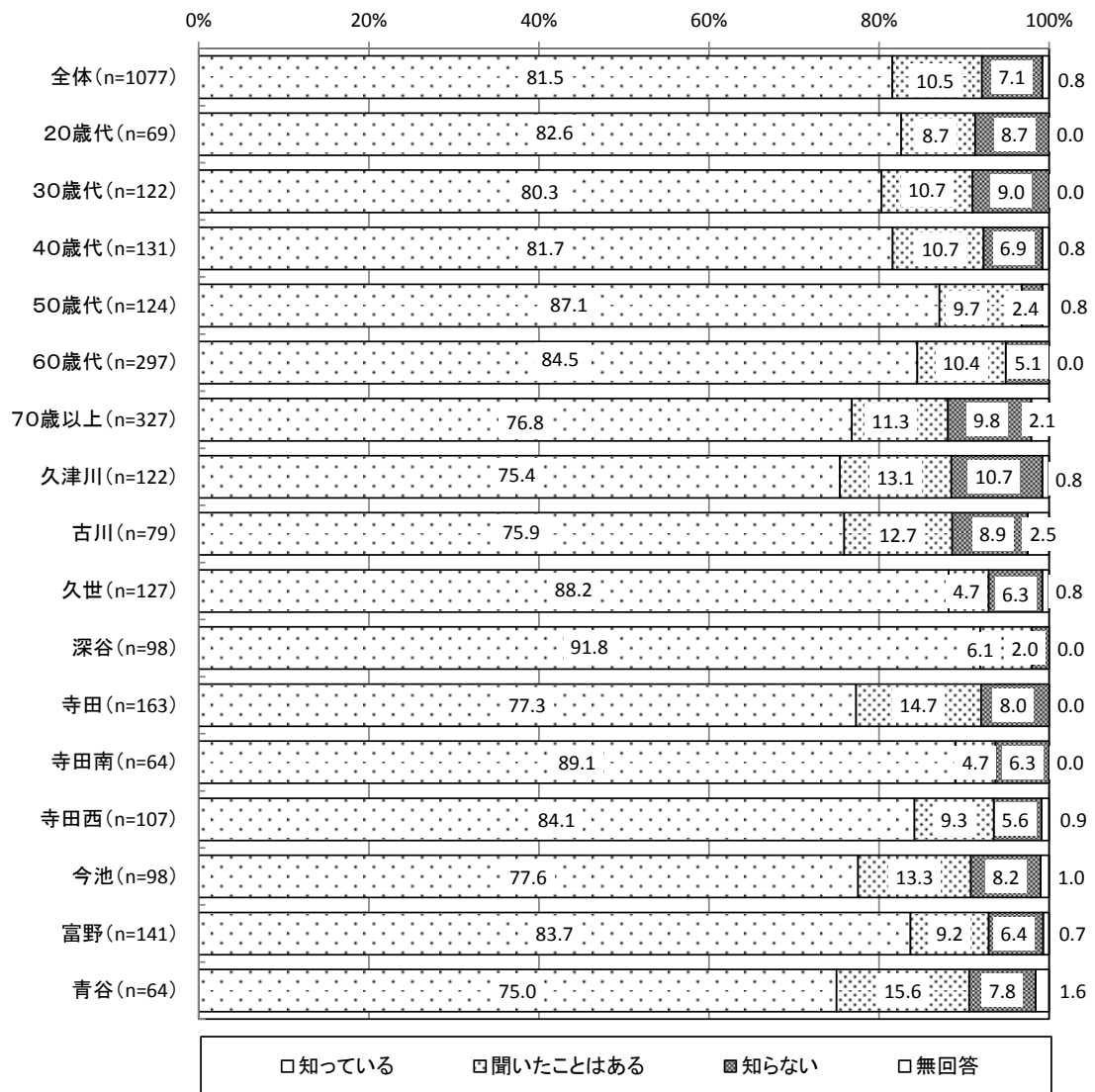


(7) あなたは城陽市が京都サンガF.C. のホームタウンであることを知っていますか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

全体では、「知っている」と回答した人が 81.5%と多く、約8割の人が京都サンガF.C. のホームタウンであることを知っている。

年齢別では、全体と同じ傾向となっている。

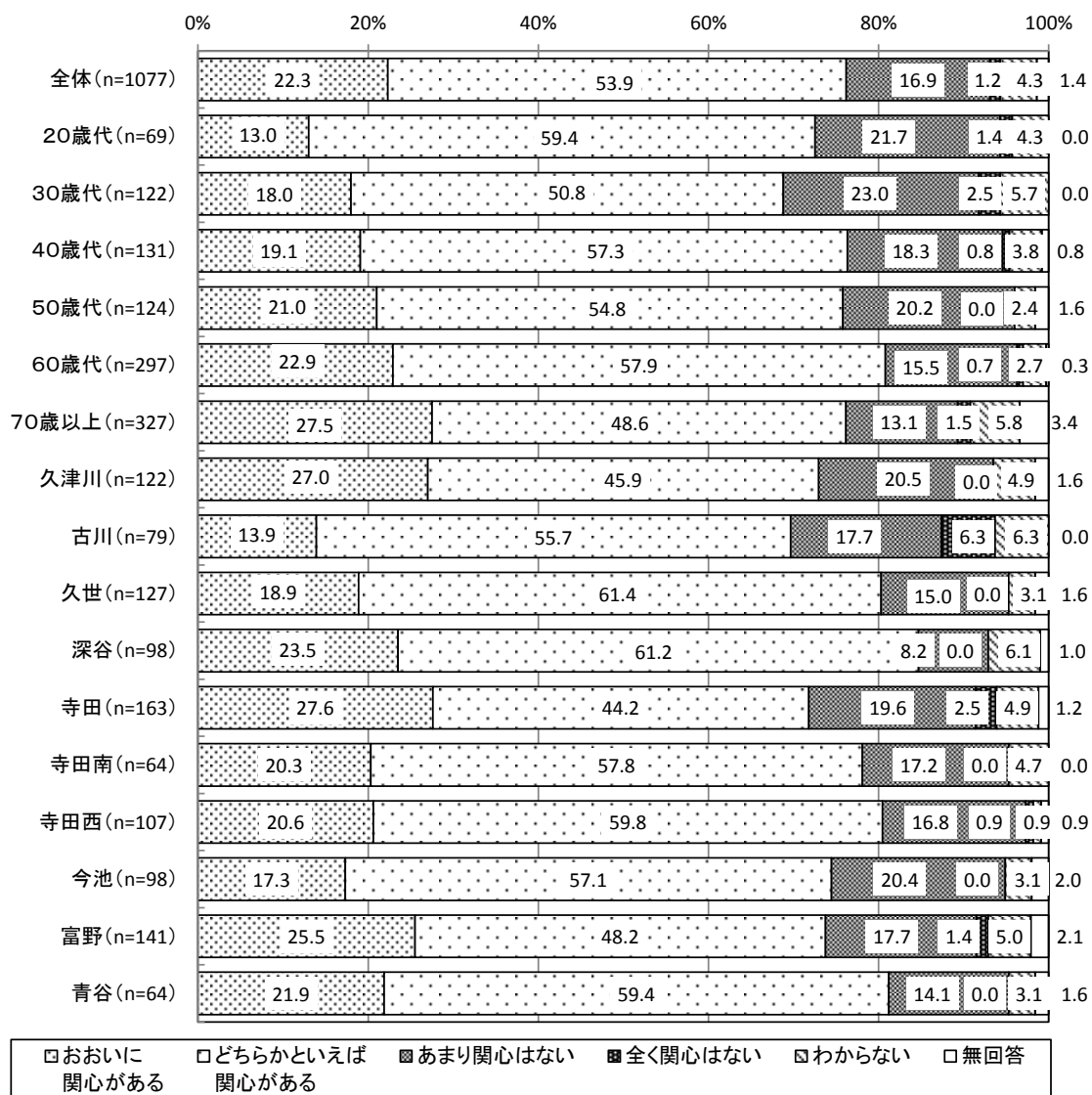
居住地区別では、深谷で「知っている」と回答した人が全体より高い傾向となっている。



(8) あなたは地球環境問題に対する関心がありますか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

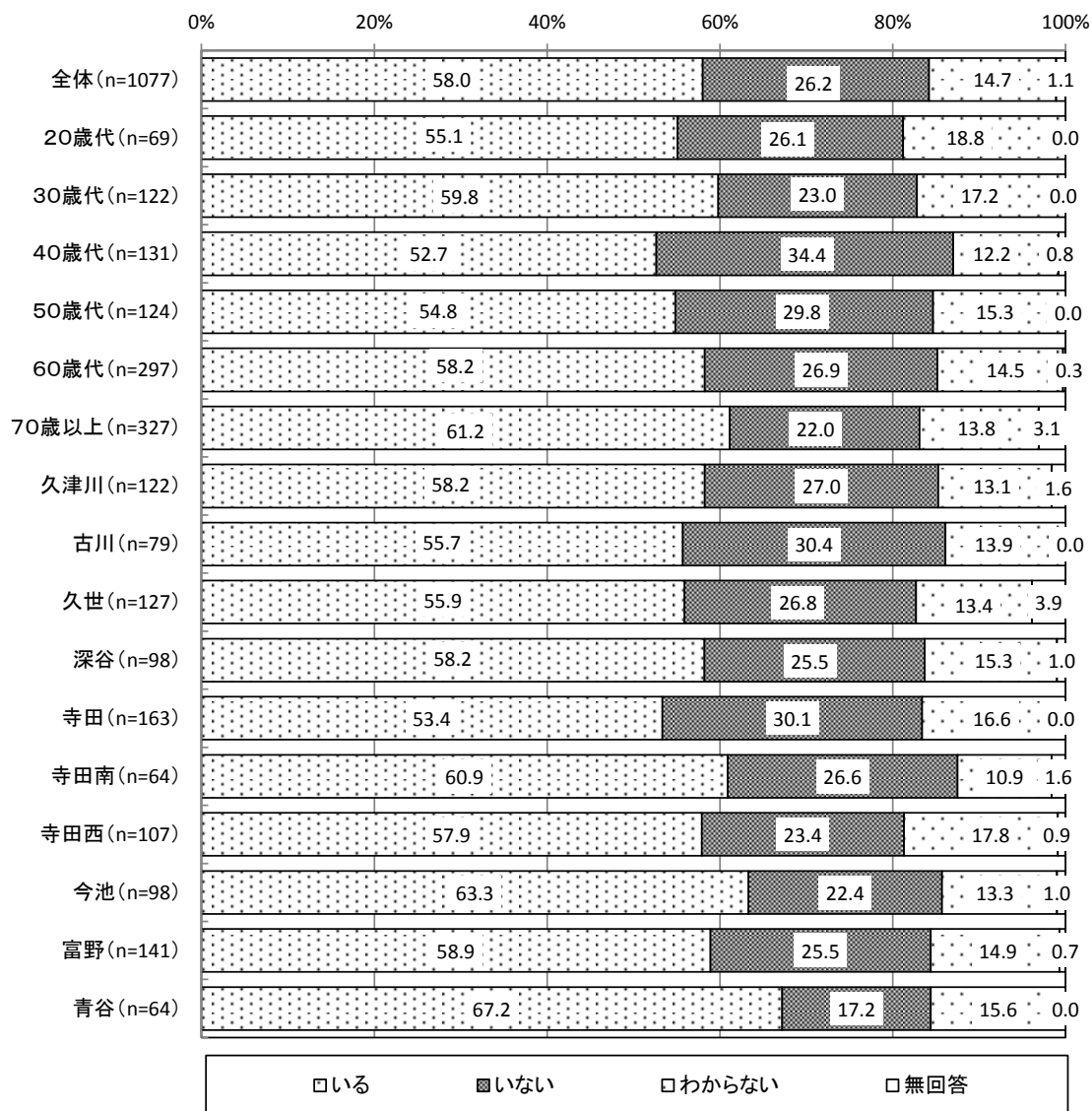
全体では、「どちらかと言えば関心がある」と回答した人が 53.9%で最も多く、次いで「おおいに関心がある」が 22.3%となっており、「おおいに関心がある」と「どちらかと言えば関心がある」を合計した地球環境問題に関心のある人の割合は約8割となっている。

年齢別、居住地区別とも、全体と同じ傾向となっている。



(9) あなたは“困ったときに近所に相談できる人や手助けを求められる人”がいますか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

全体では、「いる」と回答した人が58.0%、「いない」が26.2%となっている。
年齢別、居住地区別とも、全体と同じ傾向となっている。



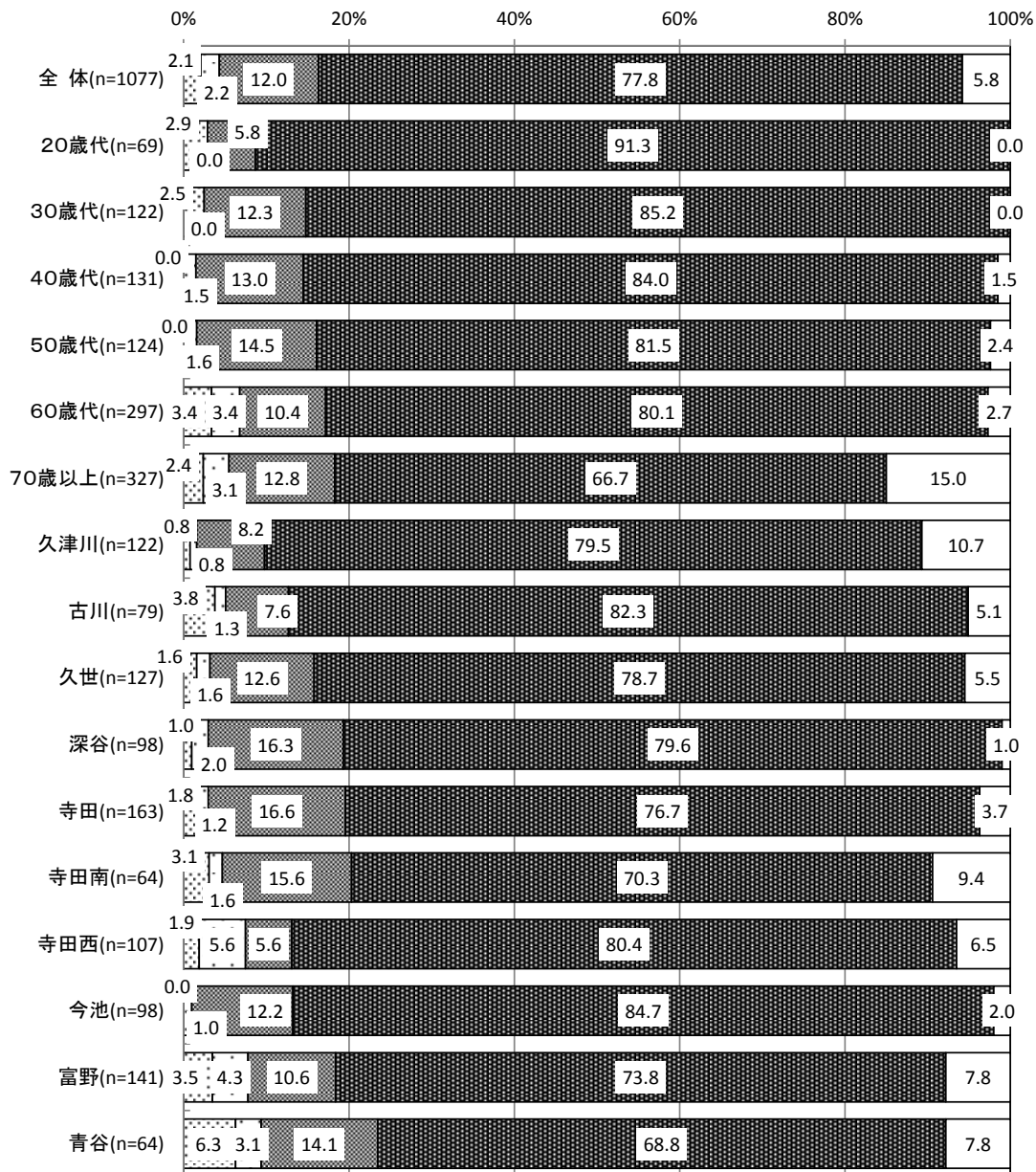
(10) あなたは次の活動をどの程度行っていますか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

①福祉分野のボランティア・市民活動

全体では、「しない」と回答した人が77.8%で最も多く、約8割の人が福祉分野のボランティア・市民活動をしていない。

年齢別では、20歳代で「しない」と回答した人が全体より高い傾向となっている。

居住地区別では、青谷で「ほとんど毎日」、「ときどき」、「ときたま」の合計が全体より高い傾向となっている。



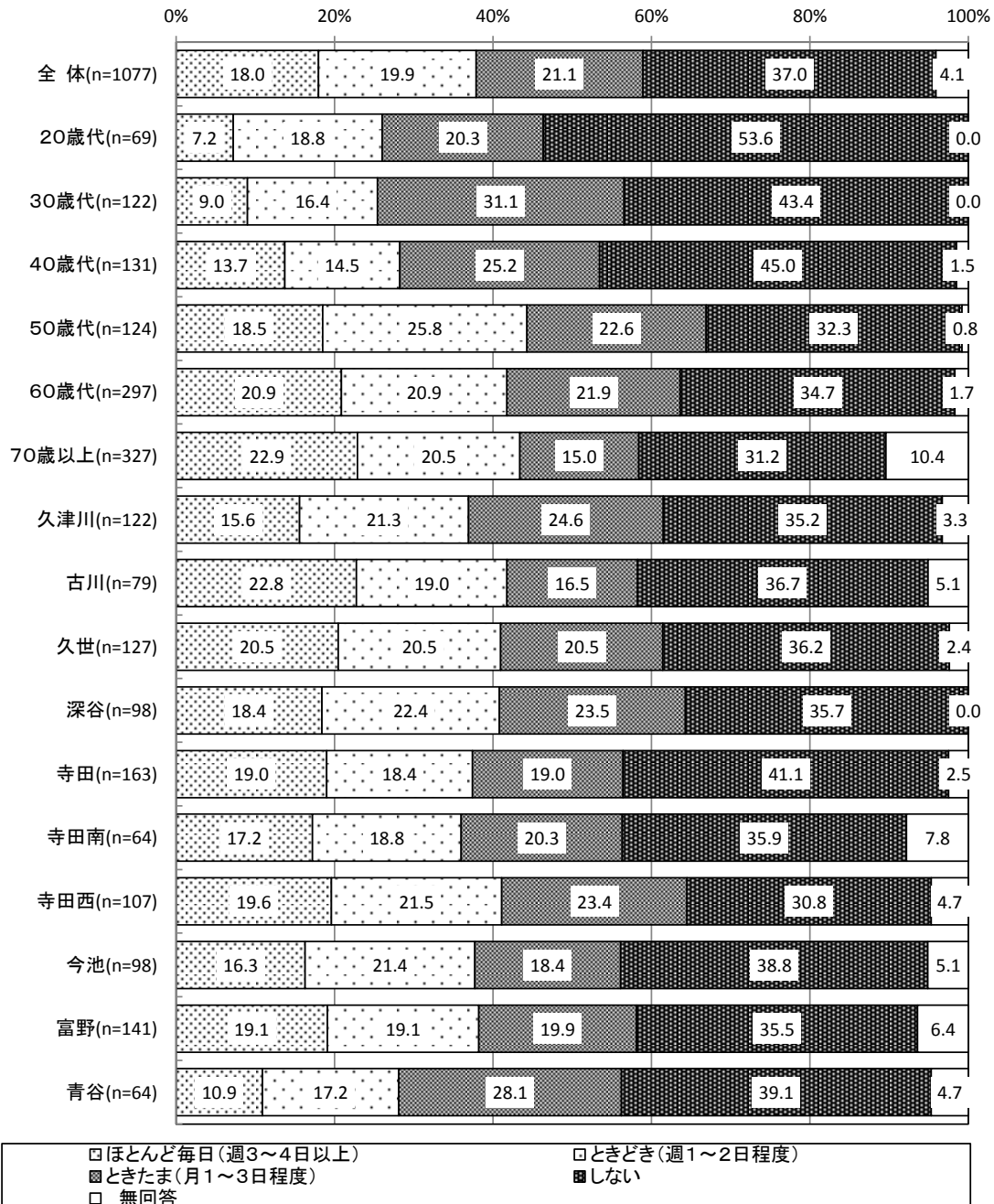
ほとんど毎日(週3~4日以上) ときどき(週1~2日程度)
 ときたま(月1~3日程度) しない
 無回答

②自主的な健康づくり活動

全体では、「しない」と回答した人が 37.0%で最も多く、次いで、「ときたま」が 21.1%となっている。「ほとんど毎日」、「ときどき」、「ときたま」を合計した自主的な健康づくり活動を行っている人の割合は約 6 割となっている。

年齢別では、20 歳代で「しない」と回答した人が、30 歳代で「ときたま」と回答した人が全体より高い傾向となっている。

居住地区別では、深谷と寺田西で「ほとんど毎日」、「ときどき」、「ときたま」の合計が全体より高い傾向となっている。

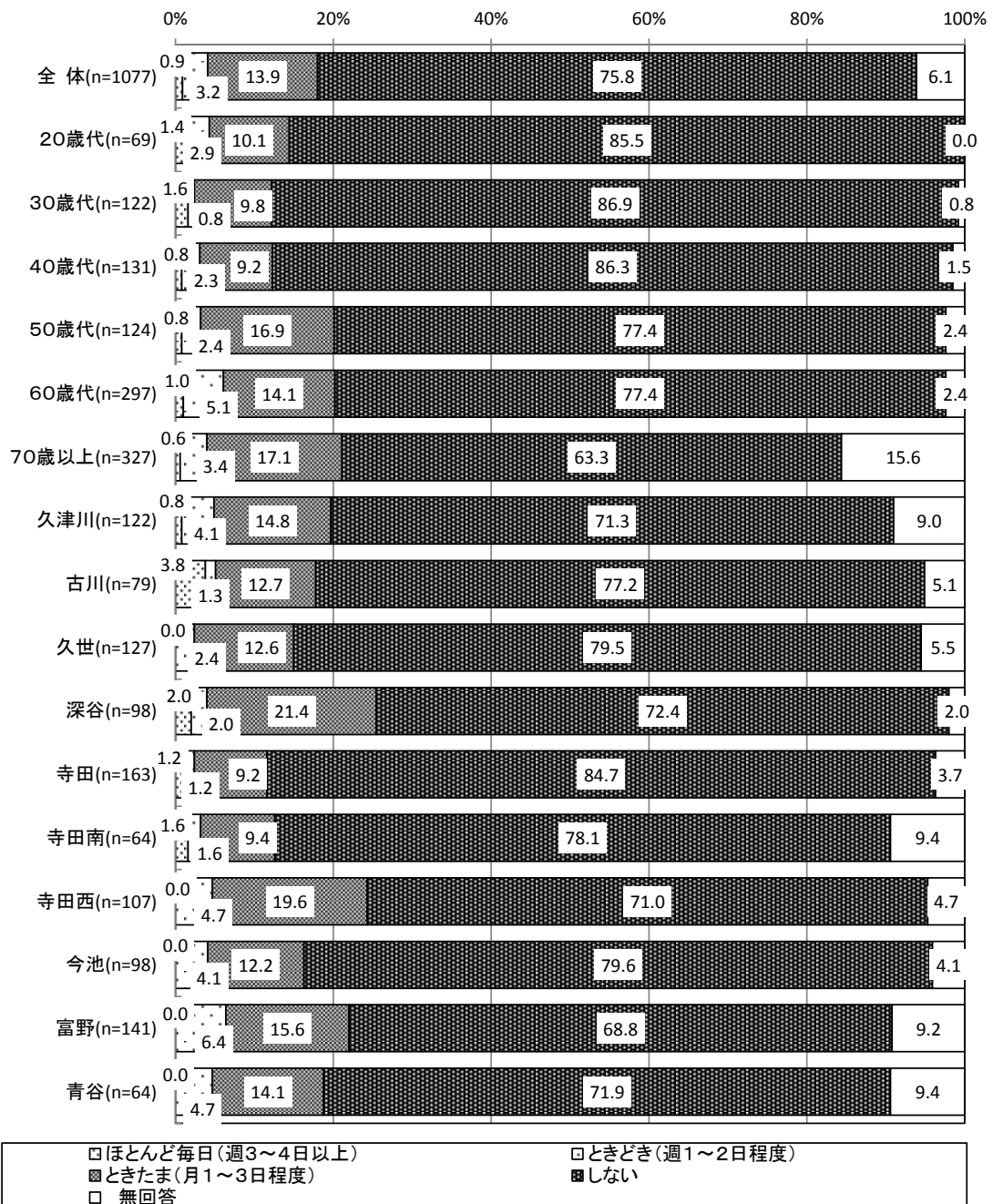


③生涯学習に係わる様々な講座

全体では、「しない」と回答した人が 75.8%で最も多く、約 8 割の人が生涯学習に係わる様々な講座を受けていない。

年齢別では、30 歳代、40 歳代で「しない」と回答した人が全体より高い傾向となっている。

居住地区別では、深谷と寺田西で「ほとんど毎日」、「ときどき」、「ときたま」の合計が全体より高い傾向となっている。

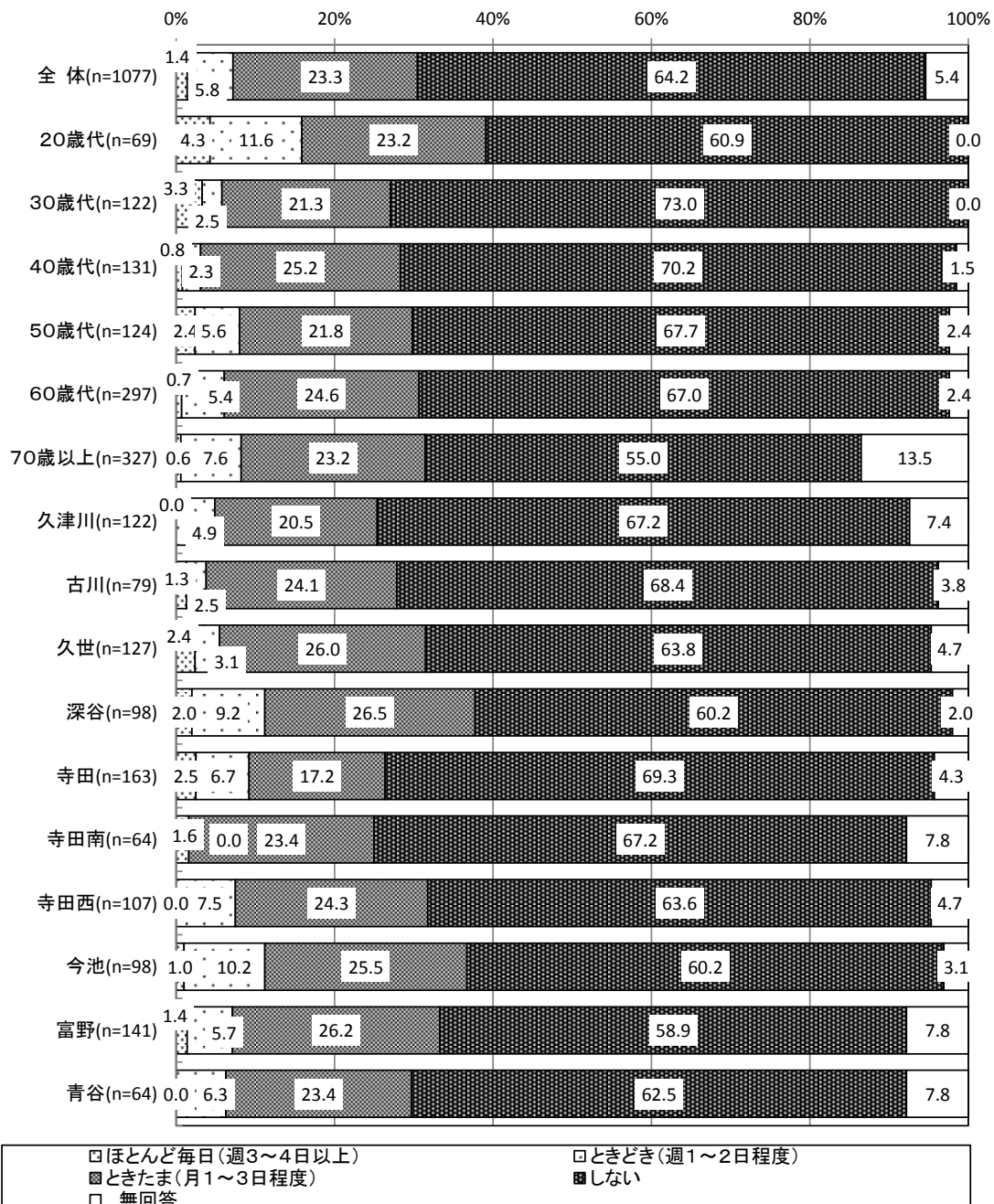


④文化・芸術活動

全体では、「しない」と回答した人が 64.2%で最も多く、約 6 割の人が文化・芸術活動をしていない。

年齢別では、20 歳代で「ほとんど毎日」、「ときどき」、「ときたま」の合計が全体より高い傾向となっている。

居住地区別では、深谷と今池で「ほとんど毎日」、「ときどき」、「ときたま」の合計が全体より高い傾向となっている。

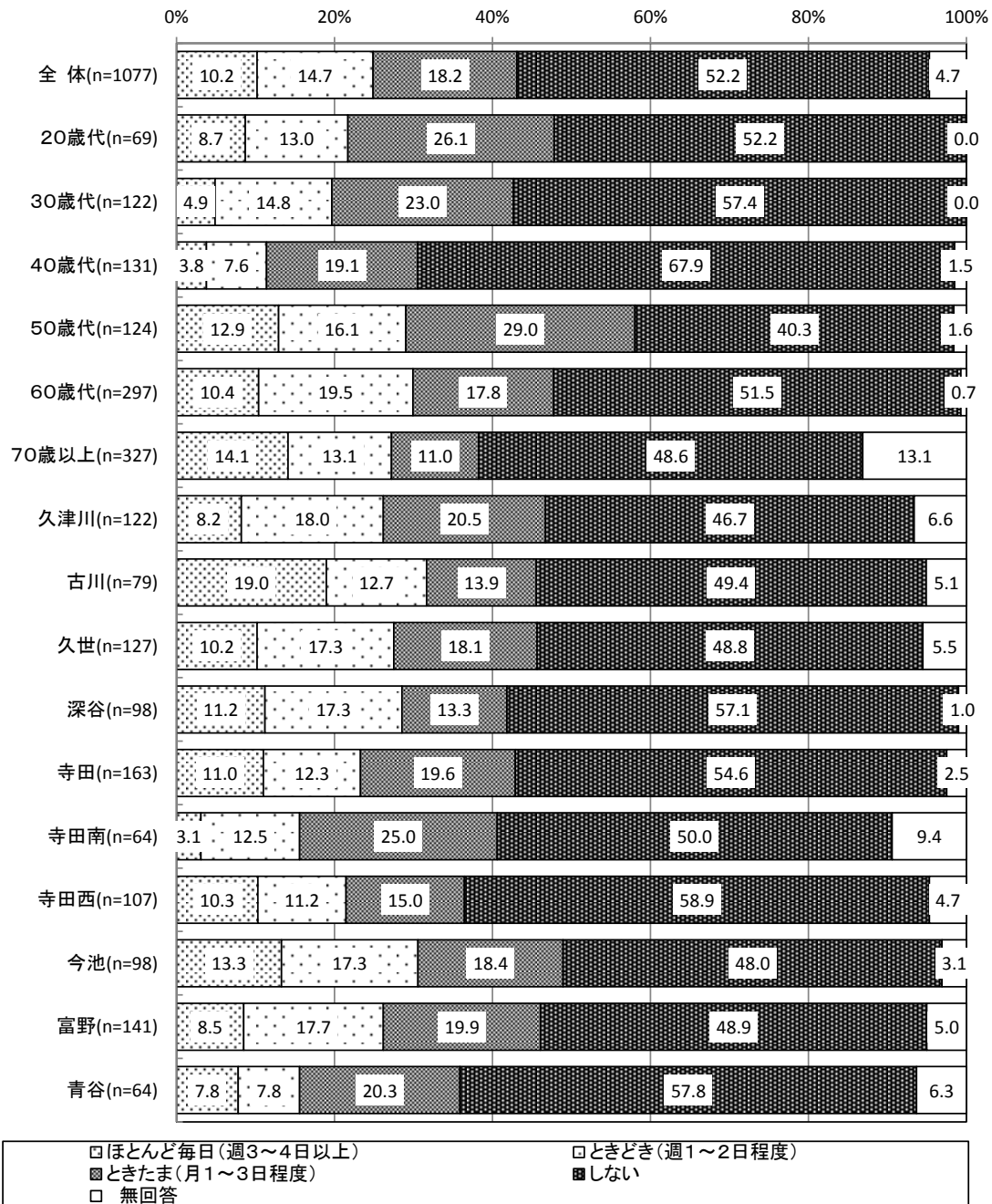


⑤運動・スポーツの実施状況

全体では、「しない」と回答した人が 52.2%で最も多く、次いで、「ときたま」が 18.2%となっている。「ほとんど毎日」、「ときどき」、「ときたま」を合計した自主的な健康づくり活動を行っている人の割合は約4割となっている。

年齢別では、40歳代で「しない」と回答した人が、50歳代で「ときたま」と回答した人が全体より高い傾向となっている。また、50歳代で「ほとんど毎日」、「ときどき」、「ときたま」の合計が全体より高い傾向となっている。

居住地区別では、今池で「ほとんど毎日」、「ときどき」、「ときたま」の合計が全体より高い傾向となっている。



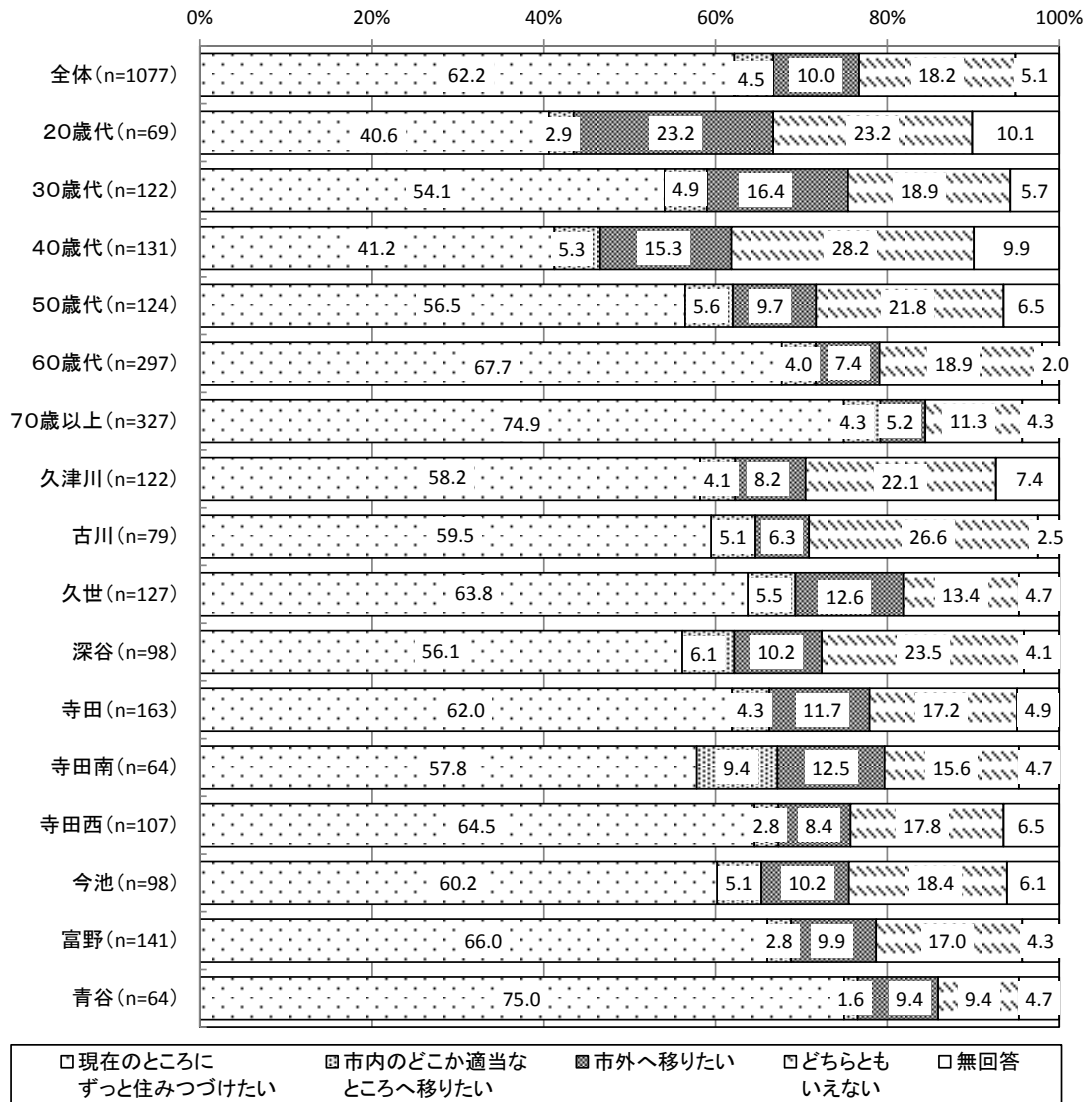
IV. 定住意向について

(1) あなたは、今後も現在のところに住みつづけたいと思いますか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

全体では、「現在のところにずっと住みつづけたい」と回答した人が 62.2%で最も多く、次いで、「どちらともいえない」が 18.2%となっている。

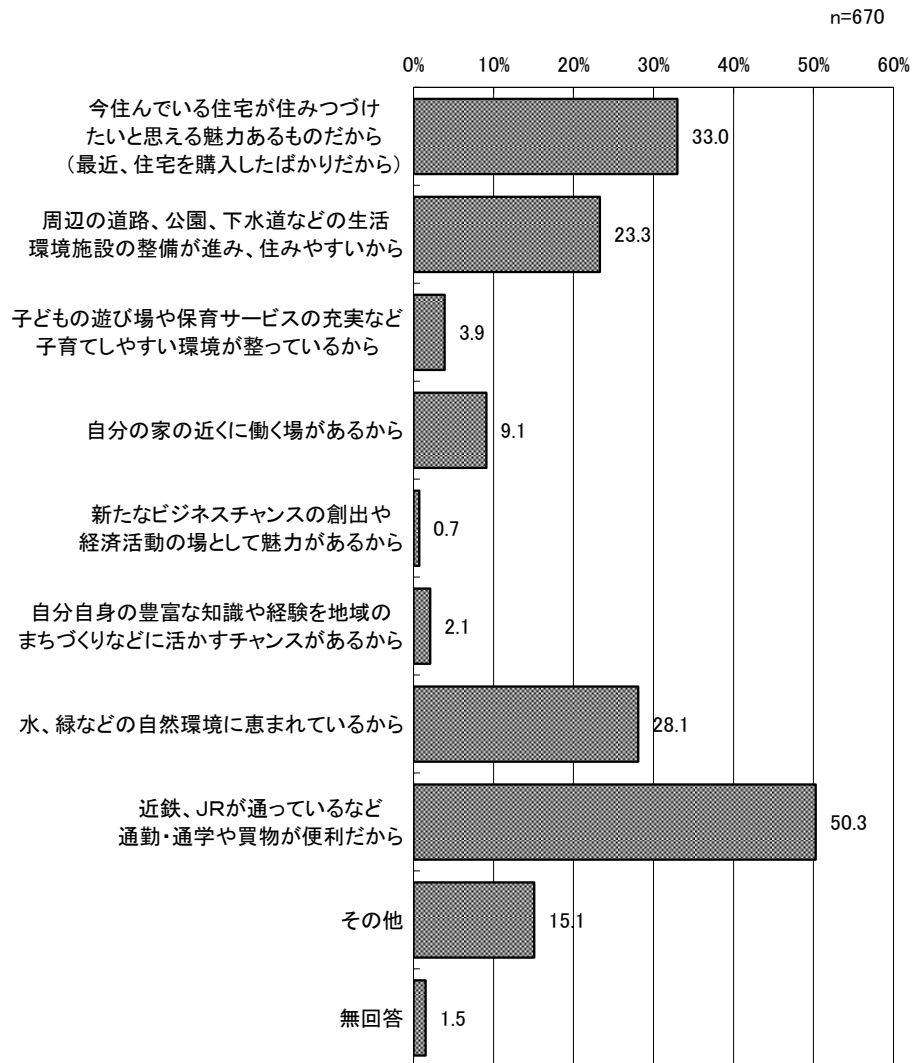
年齢別では、「市外へ移りたい」が 20 歳代、「現在のところにずっと住みつづけたい」が 70 歳以上で全体より高い傾向となっている。

居住地区別では、「現在のところにずっと住みつづけたい」が青谷で全体より高い傾向となっている。



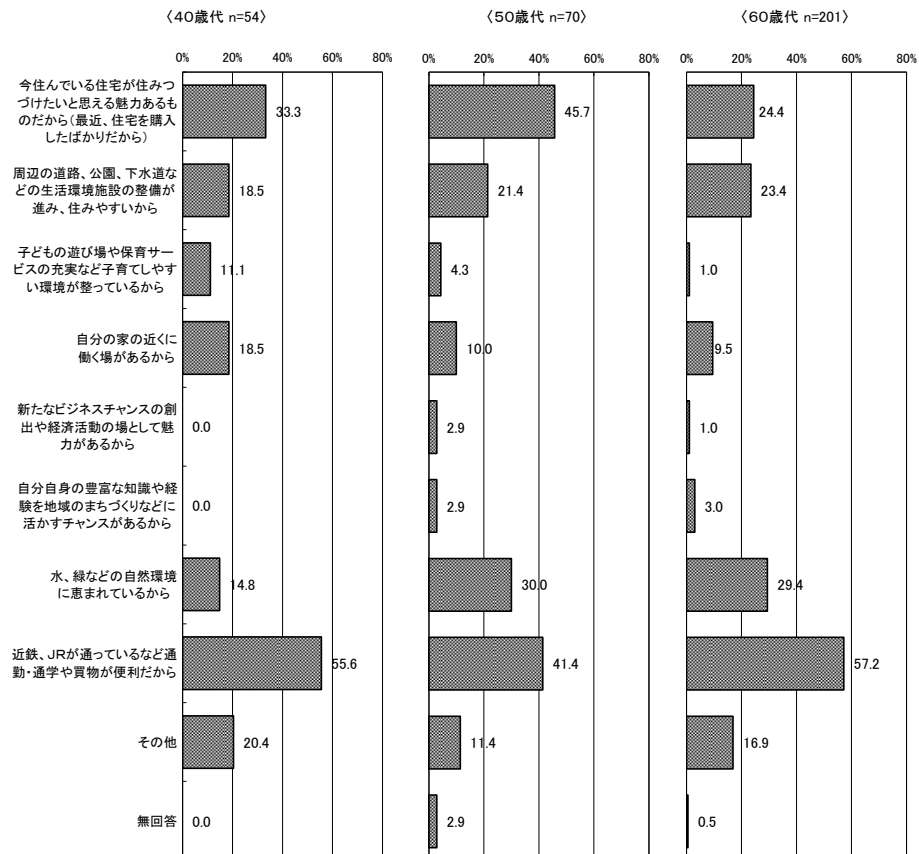
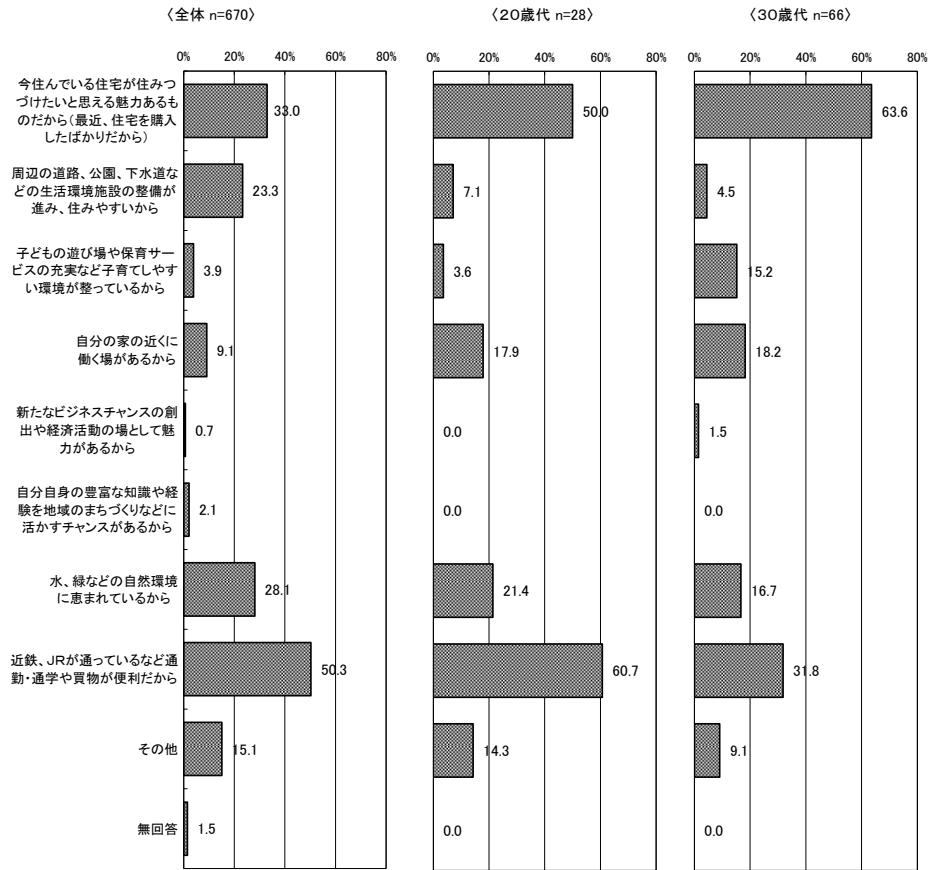
(1) - 1 「1 (ずっと住みつづけたい)」と回答された方におたずねします。住みつづけたい理由は何ですか。あてはまる番号を2つ以内で選んで○をつけてください。

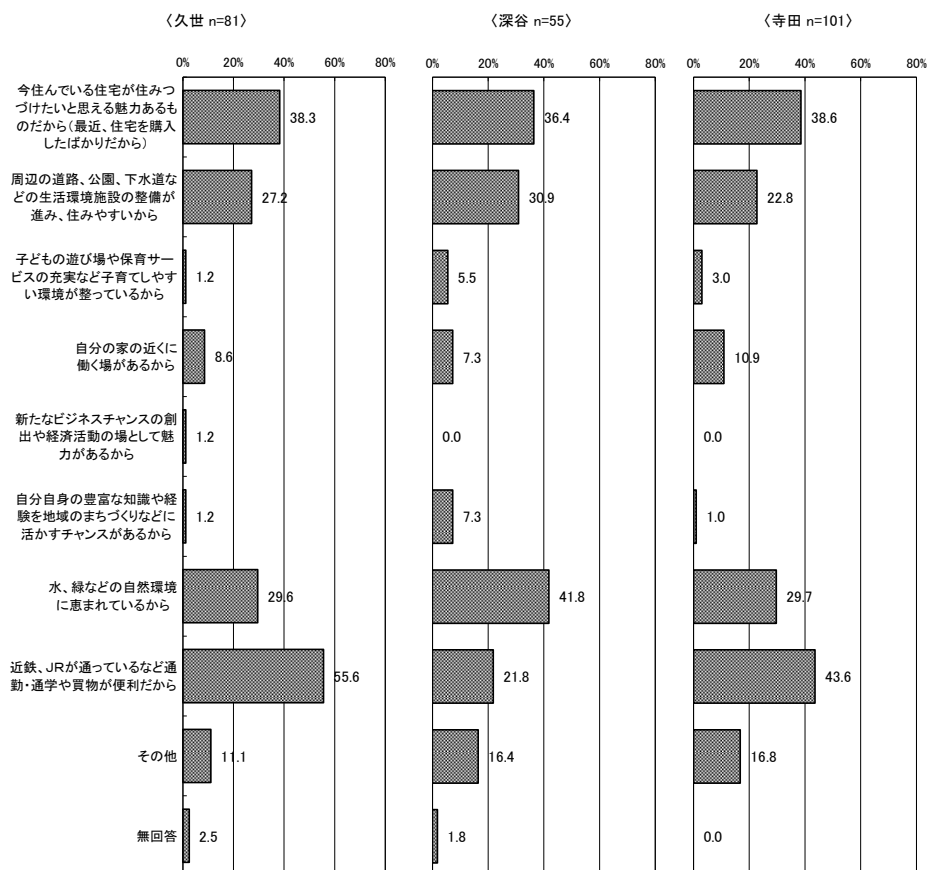
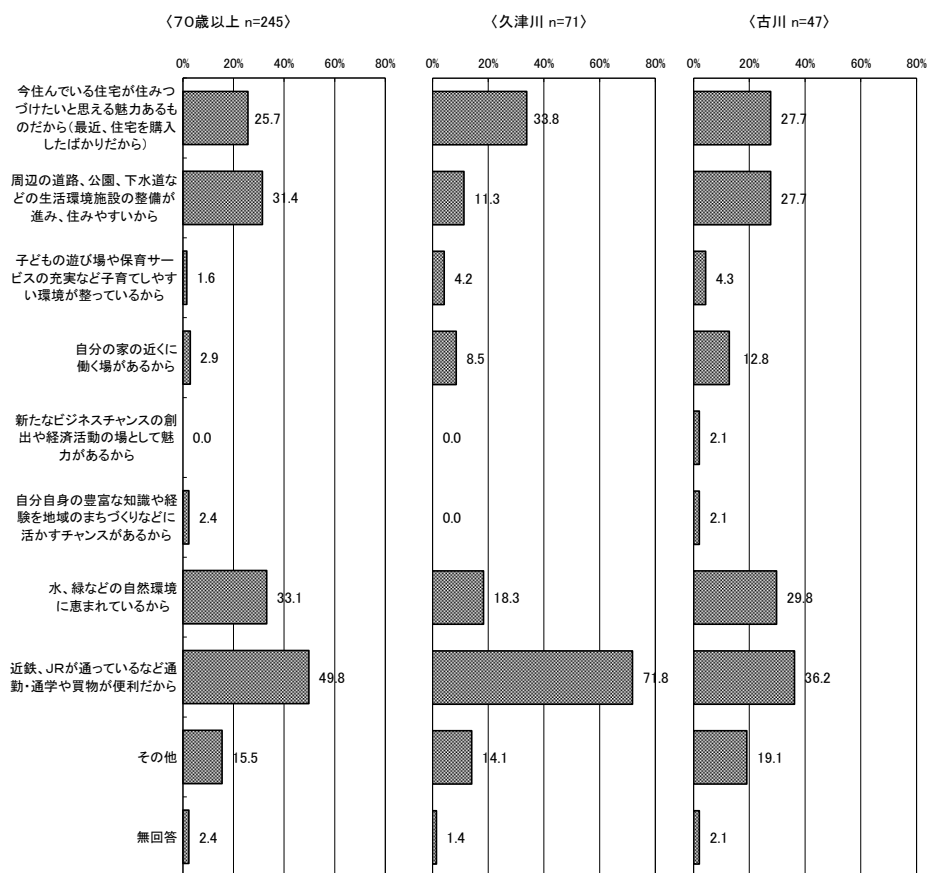
全体では、「近鉄、JRが通っているなど通勤・通学や買物が便利だから」と回答した人が50.3%で最も多く、次いで、「今住んでいる住宅が住みつづけたいと思える魅力あるものだから(最近、住宅を購入したばかりだから)」が33.0%、「水、緑などの自然環境に恵まれているから」が28.1%となっている。

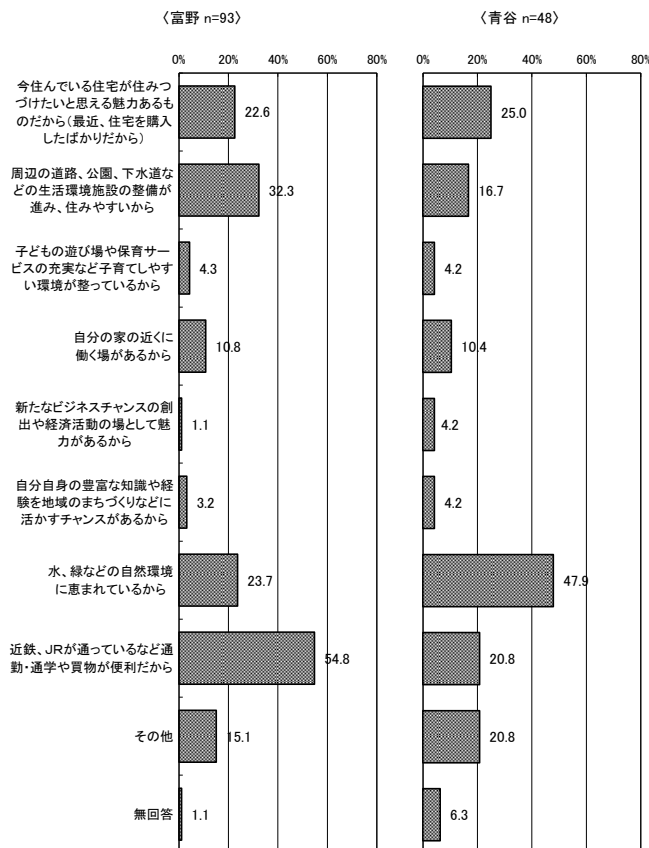
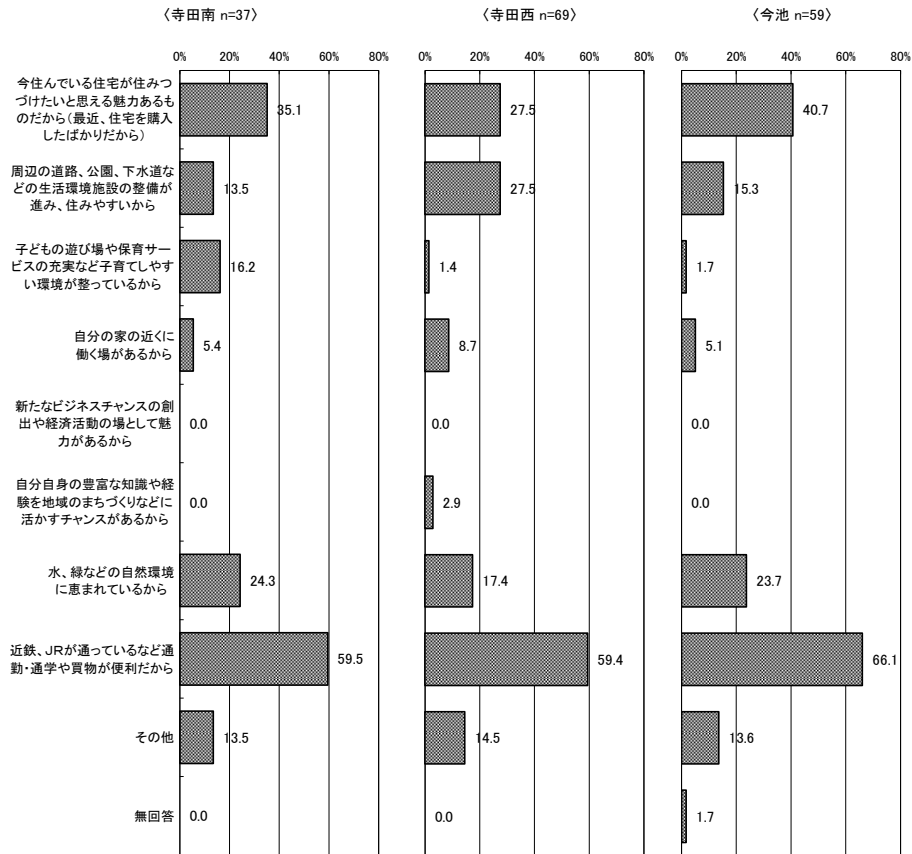


年齢別では、「今住んでいる住宅が住みつづけたいと思える魅力あるものだから(最近、住宅を購入したばかりだから)」が30歳代、20歳代で全体より高い傾向となっている。

居住地区別では、「近鉄、JRが通っているなど通勤・通学や買物が便利だから」が久津川、「水、緑などの自然環境に恵まれているから」が青谷で全体より高い傾向となっている。

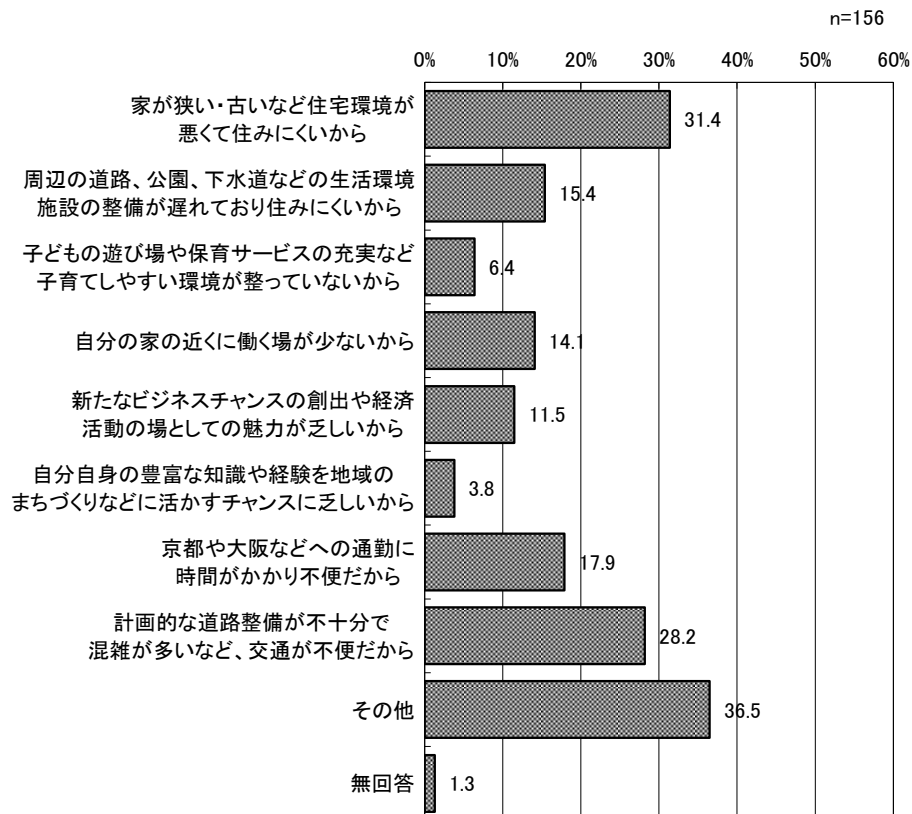






(1) - 2 「2 または 3 (移りたい)」と回答された方におたずねします。移りたい理由は何ですか。あてはまる番号を 2 つ以内で選んで○をつけてください。

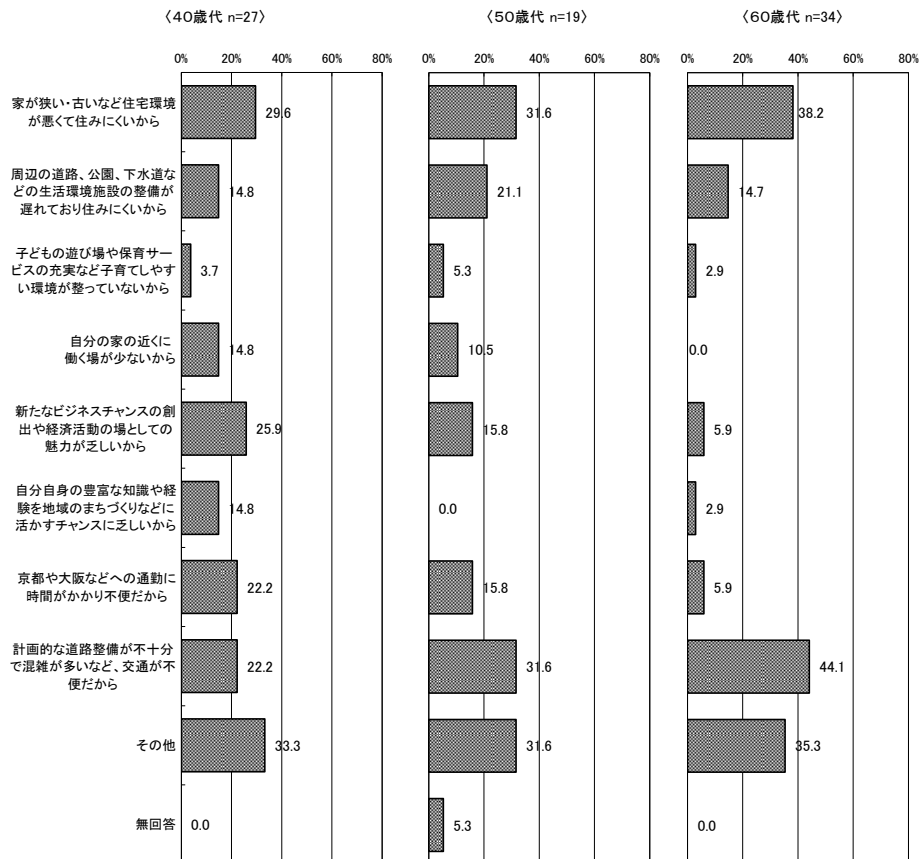
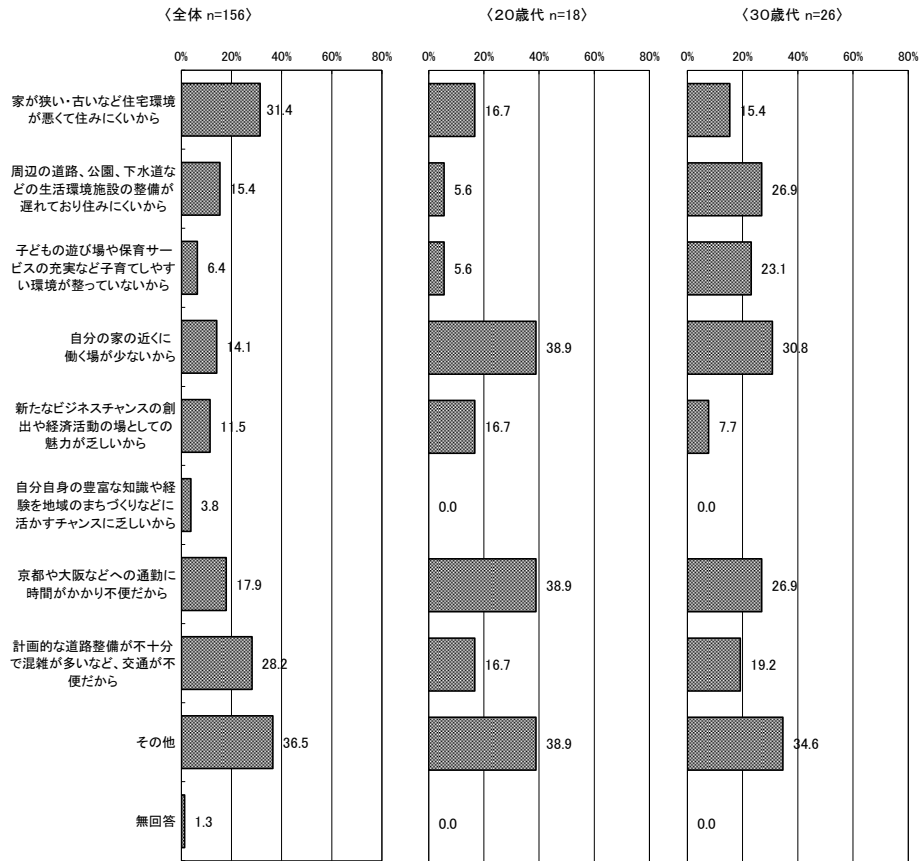
全体では、「家が狭い・古いなど住宅環境が悪くて住みにくいから」と回答した人が 31.4%、「計画的な道路整備が不十分で混雑が多いなど、交通が不便だから」が 28.2%、「京都や大阪などへの通勤に時間がかかり不便だから」が 17.9%となっている。

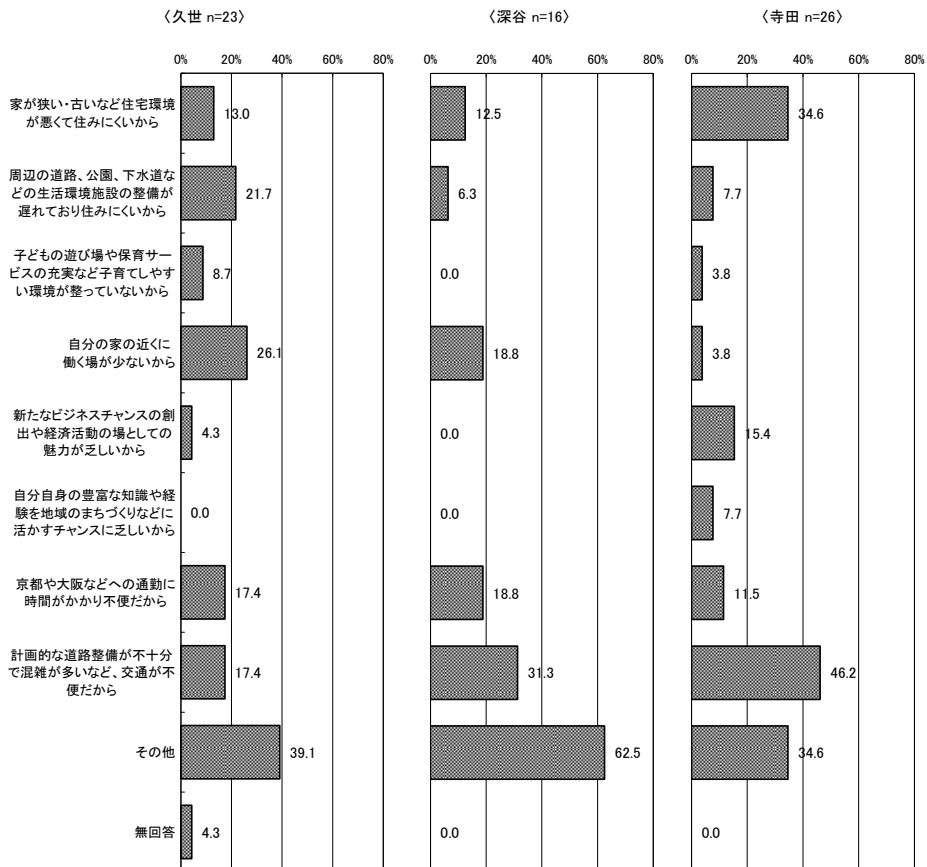
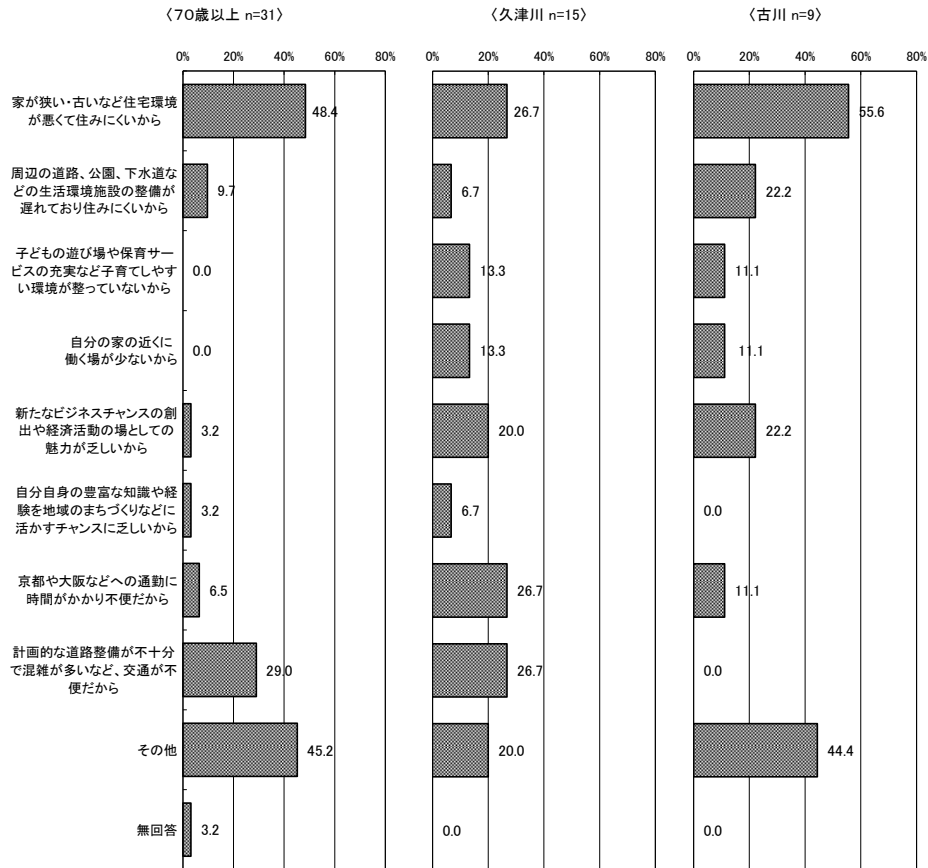


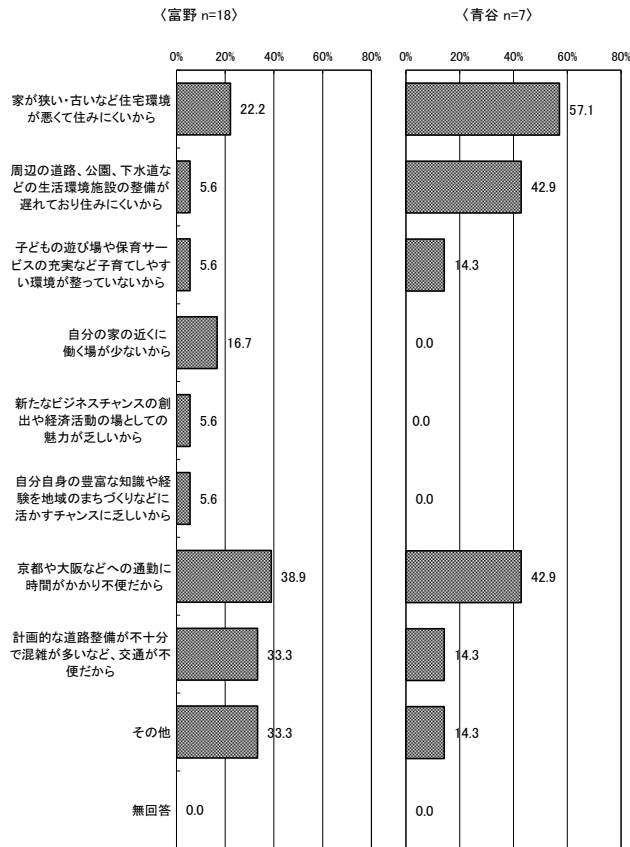
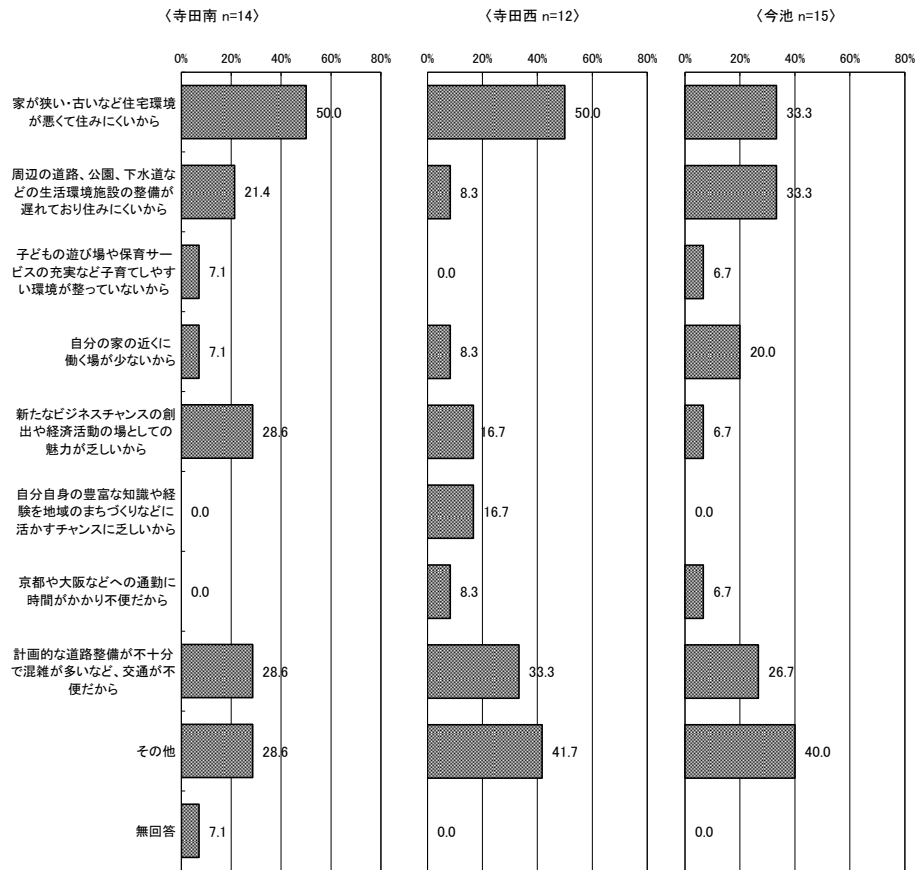
年齢別では、「自分の家の近くに働く場が少ないから」が 20 歳代、30 歳代、「京都や大阪などへの通勤に時間がかかり不便だから」が 20 歳代、「家が狭い・古いなど住宅環境が悪くて住みにくいから」が 70 歳以上、「子どもの遊び場や保育サービスの充実など子育てしやすい環境が整っていないから」が 30 歳代、「計画的な道路整備が不十分で混雑が多いなど、交通が不便だから」が 60 歳代で全体より多くなっている。

居住地区別では、「京都や大阪などへの通勤に時間がかかり不便だから」が富野地区、青谷地区、「家が狭い・古いなど住宅環境が悪くて住みにくいから」が古川、寺田南、寺田西、青谷で全体より多くなっている。

※年齢別及び居住地区別の比較については、回答数が少ないため正確に比較できないが、参考として記載している。







資料
アンケート調査票

「まちづくり市民アンケート」へのご協力をお願い

平素は、城陽市の市政にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

城陽市では現在、平成 19 年に策定した市の総合的な指針である第 3 次城陽市総合計画に基づき各種施策を推進しておりますが、その進ちょく状況を把握し、今後の施策や次期総合計画に反映させていくため、総合計画で設定しております「まちづくり指標」の項目について、市民アンケートを実施することとしました。

活力ある城陽市の実現に向けて、市民の皆さまが日常生活の中で感じられていることや、城陽市のまちづくりについてご意見やご希望をお聞かせいただけましたら幸いです。

設問数が多く恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

平成 28 年（2016 年）8 月

城陽市長 奥田 敏晴

ご記入にあたってのお願い

1. このアンケートのご回答は、原則として封筒の宛名ご本人にお願いします。
2. ご回答は、特に指定のない場合は設問ごとにあてはまるものの番号に○印をつけていただくようになっています。また、「その他」にあてはまる場合は、その内容を（ ）内に具体的にご記入ください。
3. ご記入いただいたアンケート票は、同封の返信用封筒に入れ、無記名のまま切手を貼らず、平成 28 年 9 月 5 日（月）までにご投函ください。

なお、このアンケートの対象となられる方は、平成 28 年（2016 年）7 月 1 日現在、市内にお住まいの 20 歳以上の方の中から 2,000 人を無作為に抽出し、選ばせていただきました。

ご記入いただいた内容は統計的に処理して利用させていただきます。また、市政運営以外の目的で使用することはありません。

このアンケート調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします

城陽市役所 企画管理部 企画調整課 電話0774(56)4041



II. 城陽市のことについておたずねします

(1) あなたが城陽市に住んでいて、次の項目についてどのように感じているのかをお答えください。

あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

	満足	やや満足	やや不満	不満
①鉄道の利用しやすさ	1	2	3	4
②城陽さんさんバス(※)の利用しやすさ	1	2	3	4
③道路の利用しやすさ・安全性	1	2	3	4
④歩道の利用しやすさ・安全性	1	2	3	4
⑤居住環境のよさ	1	2	3	4
⑥水や緑などの自然環境の豊かさ	1	2	3	4
⑦川や池の水のきれいさ	1	2	3	4
⑧市からの情報発信や情報提供	1	2	3	4

※ 城陽さんさんバス：市が補助金を交付して運行している近鉄寺田駅と市内北東部、プラムイン城陽を結ぶ路線及びプラムイン城陽と水主地域、長池地域を結ぶ路線をいう。

III. あなたの日常生活についておたずねします

(1) あなたの普段の生活に関して、次の項目についておたずねします。あなたの実感に**最も近い番号**

を1つ選んで○をつけてください。

	そう思う	やや思う	あまり 思わない	まったく 思わない
①防犯の面からみて、安全に暮らせるまちである	1	2	3	4
②高齢になっても、地域で安心して暮らせるまちである	1	2	3	4
③働くことと子育てが両立できる環境が整っている	1	2	3	4
④育児について相談できる場が整っている	1	2	3	4
⑤青少年が安全で健やかに育つ環境が整っている	1	2	3	4
⑥市内を流れる川について、親しみやすい	1	2	3	4
⑦男女が平等である	1	2	3	4
⑧人権が尊重されている	1	2	3	4
⑨市役所職員の仕事や対応が信頼できる	1	2	3	4



(2) あなたは地震などの災害が起きたときに、何をすべきか理解していますか。**あてはまる番号を1つ選んで○**をつけてください。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 十分に理解している | 2. どちらかといえば理解している |
| 3. どちらかといえば理解していない | 4. 理解していない |
| 5. わからない | |

(3) 高齢者の健康づくりや生きがいがづくりなど高齢者福祉を充実する取り組みに満足していますか。**あてはまる番号を1つ選んで○**をつけてください。

- | | |
|-----------|-------------------|
| 1. 満足している | 2. どちらかといえば満足している |
| 3. ふつう | 4. やや不満である |
| 5. 不満である | |

(4) 子育てに関する相談や情報提供など子育てしやすい環境づくりを推進する取り組みに満足していますか。**あてはまる番号を1つ選んで○**をつけてください。

- | | |
|-----------|-------------------|
| 1. 満足している | 2. どちらかといえば満足している |
| 3. ふつう | 4. やや不満である |
| 5. 不満である | |

(5) 障がいのある人が自立した生活を営む環境をつくる取り組みに満足していますか。**あてはまる番号を1つ選んで○**をつけてください。

- | | |
|-----------|-------------------|
| 1. 満足している | 2. どちらかといえば満足している |
| 3. ふつう | 4. やや不満である |
| 5. 不満である | |

(6) あなたは“かかりつけ医”を持っていますか。**あてはまる番号を1つ選んで○**をつけてください。

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 持っている | 2. 持っていない |
| 3. わからない | |

(7) あなたは城陽市が京都サンガF. C. のホームタウンであることを知っていますか。**あてはまる番号を1つ選んで○**をつけてください。

- | | |
|----------|-------------|
| 1. 知っている | 2. 聞いたことはある |
| 3. 知らない | |



(8) あなたは地球環境問題に対する関心がありますか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

1. おおいに関心がある	2. どちらかといえば関心がある
3. あまり関心はない	4. 全く関心はない
5. わからない	

(9) あなたは“困ったときに近所に相談できる人や手助けを求められる人”がいますか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

1. いる	2. いない
3. わからない	

(10) あなたは次の活動をどの程度行っていますか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

	ほとんど毎日 (週3~4日以上)	ときどき (週1~2日程度)	ときたま (月1~3日程度)	しない
①福祉分野のボランティア・市民活動	1	2	3	4
②自主的な健康づくり活動	1	2	3	4
③生涯学習に係わる様々な講座	1	2	3	4
④文化・芸術活動	1	2	3	4
⑤運動・スポーツの実施状況	1	2	3	4

(活動例)

- ①福祉分野のボランティア・市民活動
例) 高齢者などの話し相手・介助、子どもへの読み聞かせ、地域での見守り活動など
- ②自主的な健康づくり活動
例) 食事や栄養への配慮、定期健診の受診、ウォーキングなどの自主トレーニングなど
- ③生涯学習に係わる様々な講座
例) コミュニティセンター、カルチャーセンターなどでの各種講座の受講など
- ④文化・芸術活動
例) 文化パーク等での音楽や演劇の鑑賞、神社仏閣などの拝観や見学、サークル活動など
- ⑤運動・スポーツの実施状況
例) ウォーキングやランニング等の運動、自主的なスポーツ活動、スポーツチームへの参加、体育協会等での活動など



IV. 城陽市での定住意向についておたずねします

(1) あなたは、今後も現在のところに住みつづけたいと思いますか。 あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- | |
|------------------------------------|
| 1. 現在のところにずっと住みつづけたい…………… (1) -1 へ |
| 2. 市内のどこか適当なところへ移りたい…………… (1) -2 へ |
| 3. 市外へ移りたい…………… (1) -2 へ |
| 4. どちらともいえない |

(1) -1 「1(ずっと住みつづけたい)」と回答された方におたずねします。住みつづけたい理由は何ですか。 あてはまる番号を2つ以内で選んで○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 今住んでいる住宅が住みつづけたいと思える魅力あるものだから(最近、住宅を購入したばかりだから) |
| 2. 周辺の道路、公園、下水道などの生活環境施設の整備が進み、住みやすいから |
| 3. 子どもの遊び場や保育サービスの充実など子育てしやすい環境が整っているから |
| 4. 自分の家の近くに働く場があるから |
| 5. 新たなビジネスチャンスの創出や経済活動の場として魅力があるから |
| 6. 自分自身の豊富な知識や経験を地域のまちづくりなどに活かすチャンスがあるから |
| 7. 水、緑などの自然環境に恵まれているから |
| 8. 近鉄、JRが通っているなど通勤・通学や買物が便利だから |
| 9. その他(具体的に: _____) |

(1) -2 「2または3(移りたい)」と回答された方におたずねします。移りたい理由は何ですか。 あてはまる番号を2つ以内で選んで○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 家が狭い・古いなど住宅環境が悪くて住みにくいから |
| 2. 周辺の道路、公園、下水道などの生活環境施設の整備が遅れており住みにくいから |
| 3. 子どもの遊び場や保育サービスの充実など子育てしやすい環境が整っていないから |
| 4. 自分の家の近くに働く場が少ないから |
| 5. 新たなビジネスチャンスの創出や経済活動の場としての魅力が乏しいから |
| 6. 自分自身の豊富な知識や経験を地域のまちづくりなどに活かすチャンスに乏しいから |
| 7. 京都や大阪などへの通勤に時間がかかり不便だから |
| 8. 計画的な道路整備が不十分で混雑が多いなど、交通が不便だから |
| 9. その他(具体的に: _____) |



V. 自由意見

城陽市のまちづくりについて、ご意見・ご提案がありましたら、下の空欄にご自由にお書きください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

